

令和 7 年度通常総会資料

と き 令和 7 年 6 月 13 日 (金) 午後 2 時

ところ 秋田市「イヤタカ」

公益社団法人 秋 田 県 獣 医 師 会



日本獣医師会・獣医師倫理綱領

獣医師の誓いー95年宣言

人類は、地球の環境を保全し、他の生物と調和を図る責任をもっている。特に獣医師は、動物の健康に責任を有するとともに、人の健康についても密接に関わる役割を担っており、人と動物が共存できる環境を築く立場にある。

獣医師は、また、人々がうるおいのある豊かな生活を楽しむことができるよう、広範多岐にわたる専門領域において、社会の要請に積極的に応えていく必要がある。

獣医師は、このような重大な社会的使命を果たすことを誇りとし、自らの生活をも心豊かにすることができるよう、高い見識と厳正な態度で職務を遂行しなければならない。

以上の理念のもとに、私たち獣医師は、次のことを誓う。

- 1 動物の生命を尊重し、その健康と福祉に指導的な役割を果たすとともに、人の健康と福祉の増進に努める。
- 2 人と動物の絆（ヒューマン・アニマル・ボンド）を確立するとともに、平和な社会の発展と環境の保全に努める。
- 3 良識ある社会人としての人格と教養を一層高めて、専門職としてふさわしい言動を心がける。
- 4 獣医学の最新の知識の吸収と技術の研鑽、普及に励み、関連科学との交流を推進する。
- 5 相互の連携と協調を密にし、国際交流を推進して世界の獣医界の発展に努める。

令和 7 年度通常総会次第

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 表 彰

秋田県獣医師会会長表彰

4. 来賓祝辞

5. 議長選任

6. 議事録署名人の選任及び書記の任命

7. 議 事

8. 閉 会

表 彰 者 名 簿（敬称省略）

秋田県獣医師会会長表彰

長谷川 博 之

小 野 郁 男

令和 7 年度通常総会議案

第 1 号議案 令和 6 年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録の承認について

第 2 号議案 公益社団法人秋田県獣医師会役員選任規程の一部改正について

第 3 号議案 役員の選任について

報告事項

- 1 令和 7 年度事業計画、収支予算書（損益ベース）について
- 2 秋田県獣医師会創立 75 周年記念事業収支決算書について

上記のとおり提出いたします

令和 7 年 6 月 13 日

会 長 理 事	砂 原 和 文
副会長理事	藤 原 憲
副会長理事	佐 藤 満 雄
常 務 理 事	佐々木 専 悦
理 事	加 藤 仁
理 事	若 松 清 則
理 事	齊 藤 志保子
理 事	松 野 実
理 事	伊 豆 肇
理 事	高 橋 朝 夫
理 事	太 田 和 広
理 事	竹 田 ゆかり

第1号議案 令和6年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録の承認について

令和6年度事業報告

I 会員の動向

1 会員の異動状況

単位 人

区 分	令和5年度末 会員数	令和6年度 入会者数	令和6年度 退会者数	令和6年度末 会員数
会員数	243 (1) ※1	8	6 (逝去 7) ※2	238 (1) ※1

※1 () 内は賛助会員 (外数 秋田情報ビジネス専門学校)

※2 () 内は逝去会員数 (外数)

2 新入会員 (8 名)

支 部	氏 名	所 属
鹿 角	新 井 孝 典	秋田県食肉衛生検査所
鹿 角	三 木 さくら	秋田県食肉衛生検査所
鹿 角	與 齊 雄 飛	秋田県農業共済組合県北家畜診療所
北秋田	佐 藤 友希子	秋田県北部家畜保健衛生所
北秋田	大 村 樹 里	秋田県北部家畜保健衛生所
秋 田	白 石 圭	あきたこまつ動物病院
秋 田	矢 谷 仁 人	あきたこまつ動物病院
仙 北	本 橋 寛 崇	秋田県農業共済組合県南家畜診療所

3 物故者 (7 名)

支 部	氏 名	逝 去 年 月 日
秋 田	高 橋 慶 彦	令和 6 年 3 月 17 日 (7月に確認)
秋 田	斉 藤 一 秋	令和 6 年 4 月 16 日
仙 北	柳 田 美 俊	令和 6 年 5 月 5 日
秋 田	櫻 田 紀 元	令和 6 年 6 月 13 日
由 利	渡 邊 順 吉	令和 6 年 12 月 3 日
雄 勝	大 山 宏	令和 6 年 12 月 21 日
秋 田	田 中 光 郎	令和 7 年 2 月 21 日

4 退会者 (6 名)

支 部	氏 名	退 会 年 月 日
北秋田	菅 野 宏	令和 6 年 8 月 31 日
由 利	木 村 貴美代	令和 7 年 1 月 27 日
秋 田	長谷川 麻梨子	令和 7 年 3 月 31 日
秋 田	川 本 朋 代	令和 7 年 3 月 31 日
由 利	加 藤 英 恵	令和 7 年 3 月 31 日

ほか1名

5 支部会員数

鹿角	北秋田	山本	秋田	由利	仙北	横手	雄勝	合 計
13	26	13	117	18	32	10	9	238

Ⅱ 公益目的事業

人と動物が共存する豊かで健全な社会形成を促進し、安全で安心な県民生活の確保に寄与することを目的とする事業

1 狂犬病等の人と動物の共通感染症予防推進事業

(1) 狂犬病予防事業

全てのほ乳類が感染する狂犬病は未だ世界各地で発生しており、流通の国際化などにより侵入経路が多様化していることから、引き続き県や市町村と連携して定期的な「集合注射」を組織的に推進するとともに、「個別注射」についても動物病院で随時実施した。

また、狂犬病予防注射に起因する事故等が生じた場合は、狂犬病予防注射事故対策規程に基づき迅速かつ的確に処理した。

【 狂犬病予防注射実施頭数 】

令和 7 年 3 月 31 日現在

支部名	令和 6 年度 実施頭数	令和 5 年度 実施頭数	前年比 %
鹿 角	998	1,028	97.1
北秋田	2,649	2,622	101.0
山 本	1,751	1,859	94.2
秋 田	11,121	11,367	97.8
由 利	2,888	2,903	99.5
仙 北	3,348	3,468	96.5
横 手	1,719	1,753	98.1
雄 勝	1,101	1,163	94.7
県 外	78	76	102.6
合 計	25,653	26,239	97.8

(盲導犬 7 頭を含む)

(2) 狂犬病以外の人と動物の共通感染症に関する普及啓発

高病原性鳥インフルエンザ、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、ジカ熱、新型コロナウイルス感染症などの、人と動物の共通感染症が大きな社会問題となっている。正しい知識を身につける必要のあることから、県や医師会等と連携し、人と動物の共通感染症の発生予防や、発生時の対応に関する講習会等を開催するとともに、県民を対象とした公開講座の開催、ホームページへの掲載や各種イベントにおけるリーフレット等の配布などにより正しい知識の普及啓発を図った。

2 身体障害者補助犬利用者への支援事業

身体障害者補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬等）利用者の社会参加への支援並びに補助犬の健康保持を図るため、盲導犬 7 頭の狂犬病予防注射料金を支援した。また、日本盲導犬協会が行う盲導犬育成募金への協力の呼びかけも推進した。

3 食中毒予防等対策事業

県民を対象に、生産から食卓までのフードチェーンにおける、食中毒などを含む食品の安全・安心に関する正しい知識の普及啓発に努めるため、一般公開講座を開催した。

4 高品質な家畜畜産物生産衛生対策事業

産業動物に関わる獣医師等に対する講習会（産業動物臨床講習会 10 月 31 日開催）を通じて、超音波画像診断装置を活用した卵巣・子宮の評価について、知識や技術の習得を図った。また、消費者の求める高品質で安心・安全な畜水産物の生産、普及に努めるため、8 月 25 日（日）、令和 6 年度秋田県和牛改良共進会に参加した。産業動物診療獣医師が投与する動物用医薬品の使用においては、安全・安心な畜産物の生産のため、国からの情報や適正使用指導についてホームページへの掲載等を実施し、薬剤耐性対策アクションプランに従い、抗菌剤の慎重使用の普及啓蒙を図った。さらに、公益社団法人秋田県農業公社の指定獣医師に 29 名の会員が委嘱され、自衛防疫事業の推進に努めた。

5 獣医学術向上及び研修会等開催事業

獣医学術や獣医療に関する最新の知識の習得と技術の研鑽、普及に努めるとともに食の安全・安心の確保や動物の愛護思想に基づく社会形成などの広範な社会責任を担っていることから、人材を育成し技術や知識の向上を図った。

(1) 獣医学術向上普及啓発事業

獣医学術学会や各種講習会の参加者に登録料や助成金を交付するとともに、発表者に対しても助成金を交付し、獣医療の各分野における専門的知識、高度な技術の習得や人材育成を図った。

① 令和 6 年度東北地区獣医師大会・獣医学術東北地区学会

開催期日	開催場所	大会・学会・演題数等	参加人数
令和 6 年 9 月 24 日（火）	青森県青森市 ホテル青森	東北地区獣医師大会 1 議事（日本獣医師会に対する 要望事項） (1) 産業動物臨床獣医師確保の 重要性について （福島県獣医師会） (2) 愛玩動物看護師会の設立に 向けて、最大限の支援と協力を （仙台市獣医師会） 2 市民公開特別講座 3 獣医事講演	()内は 秋田県内数 247 名（16） （企業等を含む）
令和 6 年 9 月 25 日（水）	青森県青森市 ホテル青森	獣医学術東北地区学会 1 日本産業動物獣医学会 発表演題：22 題（2 題） 2 日本小動物獣医学会 発表演題：29 題（3 題） 3 日本獣医公衆衛生学会 発表演題：18 題（1 題） 69 題（6 題） ()内は秋田県の演題数	86 名（10） 91 名（9） 70 名（7） 学会参加者計 247 名（26）

② 第 42 回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和 6 年度）

開催期日	開催場所	開催概要	参加人数
令和 7 年 1 月 24 日(金)) 1 月 26 日(日)	宮城県仙台市 「仙台国際セン ター」	・各学会シンポジウム ・地区学会長賞受賞講演 ・一般口演、教育講演ほか	秋田県 26 名

③ 産業動物臨床講習会

開催期日	開催場所	講習内容・講師	摘 要
令和 6 年 10 月 31 日	大仙市 畜産試験場 公益社団法人 秋田県農業公 社 畜産センター	演題 超音波画像診断装置を 利用した牛の卵巣と子宮 の評価 講師 日本獣医生命科学大学 三浦亮太郎 准教授	畜産センターで 実習を行った

④ 獣医公衆衛生講習会

開催期日	開催場所	講習内容・講師	摘 要
令和 6 年 11 月 7 日	秋田市 イヤタカ	演題(1) 食品安全に関する秋田県 の取組について 講師 秋田県生活環境部 生活衛生課 課長 永須昭夫 氏 演題(2) 農場 HACCP 認証構築の 取り組み状況 講師 (有)アークベテリナリー サービス 代表取締役 武田浩輝 氏	日本獣医師会 委託講習会

⑤ 小動物臨床技術講習会

開催予定日	開催場所	講習内容・講師	摘 要
令和 7 年 2 月 16 日(日)	秋田市 「イヤタカ」	演題 僅かな血液によるイヌ のがん検査 Ark-Test 講師 東京農工大学名誉教授 (株)メディカル・アーク 代表取締役 伊 藤 博 先生	

(2) 獣医療研修会等開催事業

開催期日	開催場所	講習内容・講師	摘 要
令和 7 年 1 月 20 日(月)	秋田市 「イヤタカ」	講演 馬の成長段階における 飼養管理について 講師 日本中央競馬会 浦山 俊太郎 先生	公益社団法人 秋田県農業公 社と共催

6 動物愛護・保護の普及啓発事業

県や関係団体と共催で動物愛護フェスティバルを開催するとともに、リーフレットやポスターを作成・配布し、動物愛護・保護精神の普及啓発を図った。

(1) 動物愛護フェスティバルあきた2024

開催月日 令和6年9月22日（日・祝日）

内 容 長寿動物飼い主表彰

- ・受賞者 106名（犬の飼い主 92名、猫の飼い主 14名）
- ・当日出席者 58名（犬の飼い主 52名、猫の飼い主 6名）

(2) 動物愛護センター譲渡犬同窓会

動物愛護週間中（9月22日（日））に動物愛護センターで開催された。

(3) 犬のしつけ方教室

犬の適正飼養及びしつけ方教室は年に1回以上、8地域で開催する計画としており、今年度は7地域で実施された。また、各動物病院においては、随時、管理指導等を実施した。

【開催の概要】

開催月日	開催場所	参加人数
5月25日（土）	山本地域振興局 車庫	24名
9月14日（土）	鹿角市アメニティパーク・倶楽部ハウス 体育館（アリーナ）	21名
9月28日（土）	北秋田地域振興局 庁舎車庫	31名
10月19日（土）	由利本荘保健所 駐車場	22名
10月12日（土）	大曲西道路高架下運動広場	32名
10月5日（土）	平鹿地域振興局 庁舎玄関	8名
11月9日（土）	湯沢市健康ドーム	30名

(4) 一般公開セミナー

他団体との共催で高齢者等を対象に「動物による心の癒し」等の一般公開セミナーは開催できなかったが、秋田県社会福祉協議会主催による「高齢者とペットの福祉を考える県民フォーラム」に参加した。また、一般社団法人秋田県医師会と共催し、「心のケアとしての動物」をテーマとして県民公開講座を開催した。

開催期日	開催場所	講習内容・講師
令和7年 3月27日（木）	秋田市 秋田県総合保健センター	講演(1) 動物とともに生きること ～ ホースセラピーからのアプローチ ～ 講師 東京農業大学農学部 川嶋 舟 准教授 講演(2) 「命を大切にする心を育む教室（命の教室）」の開催状況 講師 秋田県動物愛護センター 庄司浩久 専門員

7 学校飼育動物適正管理支援事業

小・中学校、幼稚園、特別支援学校等で、動物を活用した情操教育を実施するとともに、学校飼育動物の衛生と健康を保持し、効果的に教育活動が出来るように健康診断、診療、飼育指導、助言等を行い、動物飼育を介した情操教育及び動物愛護の高揚に繋げた。

- ① 秋田市内の小学校で、動物を介した情操教育や飼育指導・助言等を実施した。
- ② 「命の教室」は、秋田市内の小学校をはじめ、小学生、教員等を対象として、動物愛護等の普及啓発を行った。

8 災害時動物救護対策事業

災害時における飼育動物の避難・救護体制を構築するため動物救護用物資の備蓄並びに被災動物救護対策積立金を活用した対応を検討して発災に備えた。

(1) 平常時の活動

災害時における動物飼育動物の避難に関する心得、準備する日用品・器材、動物の訓練等について、ホームページで飼い主に情報提供している。また、ペット動物の災害対策を狂犬病集合注射時及び講習会・しつけ方教室等の開催時に配布するなど普及啓発を実施している。

ペット防災セミナーを開催し、講師から被災地で協力する獣医師の現状について講演していただき、過去に災害が発生した地域における行動等を確認した。

開催期日	開催場所	講習内容・講師	摘 要
令和 6 年 9 月 1 日 (日)	秋田市 秋田県動物愛護 センター	講演「被災地で協力する獣医師の 現状及びペット同行同伴避難 について」 講師 一般社団法人日本国際動物 救命救急協会 サニー・カミヤ 代表理事 訓練 ペット避難所設置訓練	参加 73 名 (会員 10 名)

(2) 災害発生時の活動

関係機関との連携等について、情報共有しながら対応することとしている。自然災害時の活動として現地対策本部並びに救護のためのシェルターの設置と被災動物の健康診断、治療及び相談等の対応を図るとともに、不足する医薬品や器材の調達、被災地における動物の医療救護、保護活動に関する事項について、ホームページ等で情報提供することとしている。

9 傷病野生鳥獣保護事業

野生鳥獣に関する最新の情報や学術等を提供するための研修会を開催した。

開催期日	開催場所	講習内容・講師
令和 7 年 1 月 16 日 (木)	秋田市 秋田拠点センタ ー アルヴェ	演題(1) 秋田県におけるイノシシの現状に ついて 講師 秋田県生活環境部自然保護課 副主幹 藤原一樹 氏 演題(2) ニホンジカの生態と対策 講師 秋田県生活環境部自然保護課 シニアエキスパート 長岐明彦 氏 演題(3) 野生イノシシに対する豚熱の発生予防 対策について 講師 秋田県農林水産部畜産振興課 主査 李 英輝 氏

Ⅲ 収益事業

証明書等頒布並びに県証紙取扱事業

1 証明書等頒布及び県証紙取扱事業

(1) 獣医療証明書等頒布事業

獣医師法、獣医療法、薬機法（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律）等で、診療等の際に交付が義務付けられている証明書等を頒布した。

・ A様式 162冊、B様式 10冊、指示書 8冊

(2) 県証紙取扱事業

県証紙条例に基づき、県証紙を取り扱った。

・ 件数 7件

Ⅳ その他の事業（相互扶助等事業）

相互扶助等事業

1 会員の互助・福利厚生事業

・ 獣医師総合生命福祉共済保険への加入者数 50名

2 表彰等事業

・ 日本獣医師会会長表彰 1名

・ 秋田県知事表彰 17名

・ 秋田県獣医師会会長表彰 7名

3 慶弔関係事業

・ 慶弔金給付規程により給付者 7名

4 犬猫の不妊去勢手術助成事業（県補助事業）

・ 多頭飼育者が飼育する猫を対象に、会員の動物病院で行った不妊・去勢費用に助成した。 4頭（申請2件、3動物病院で実施）

Ⅴ 管理・運営事業（法人会計）

1 総会、理事会、監査

(1) 総会及び秋田県獣医師会創立 75 周年記念式典

ア 公益社団法人秋田県獣医師会 令和 6 年度通常総会

・ 開催期日 令和 6 年 6 月 21 日（金）

・ 開催場所 秋田市「秋田キャッスルホテル」

・ 議事、案件の概要

秋田支部の安田正明会員が議長に選任され、令和 5 年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録について上程され、原案どおり承認された。

また、令和 6 年度事業計画、収支予算書（正味財産増減方式）について報告がなされた。

会員 246 名 出席会員 163 名

（本人出席 45 名、委任状出席 11 名、書面表決 107 名）

イ 秋田県獣医師会創立 75 周年記念式典及び記念講演並びに記念祝賀会

通常総会終了後に記念式典が開催され、ご来賓の皆様と会員を含め 80 名に参加していただいた。記念式典では会長が式辞を述べ、功労者表彰が行われた後に来賓の皆様から祝辞をいただいた。記念式典終了後、公益社団法人日本獣医師会 栗本まさ子 副会長から記念講演として「女性獣医師活躍推進の取組状況 ―すべての獣医師が活躍できる環境づくりの現状と課題―」について講演していただいた。講演後には記念祝賀会が開催され盛会裡に終了した。

(2) 理事会

回次	期 日	場 所	審議事項等
第 1 回	令和 6 年 5 月 21 日	秋田市 イヤタカ	【議事】 1 令和 5 年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録の承認 2 監査報告 3 県補助事業の実施 4 理事の退任 5 専門部会部会長の選任及び委員等の変更 6 令和 6 年度通常総会提出議案 7 令和 6 年度通常総会における議長候補 8 秋田県獣医師会創立 75 周年記念式典 9 服務規程の一部改正 10 会員の動向 11 令和 7 年度東北地区獣医師大会及び獣医学術東北地区学会 【報告事項】 1 代表理事及び業務執行理事の業務報告 2 令和 6 年度東北地区獣医師会連合会代議員会 3 令和 6 年度狂犬病予防事業における集合注射の実施 理事 11 名出席、監事 4 名出席
第 2 回	6 月 21 日	秋田市 イヤタカ	【議事】 1 令和 6 年度通常総会の進行・運営 2 秋田県獣医師会創立 75 周年記念式典の進行・運営 3 各支部の役員 4 会員の動向 【報告事項】 1 代表理事・業務執行理事業務報告 2 今後の行事予定 理事 12 名出席 監事 4 名出席
第 3 回	9 月 17 日	秋田市 イヤタカ	【議事】 1 令和 6 年度東北地区獣医師大会及び獣医学術東北地区学会 2 令和 6 年度狂犬病予防注射事業の実施状況 3 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う対応 4 令和 7 年度東北地区獣医師大会及び獣医学術東北地区学会 5 会員の動向 【報告事項】 1 代表理事及び業務執行理事の業務報告 2 令和 6 年度狂犬病予防注射における事故と対応

			3 令和6年度第1回秋田県獣医師会事務事業推進会議 4 令和6年度県補助事業の実施 5 令和6年度支部職員の最低賃金の改正 理事 10 名出席 監事 3 名出席
第4回	令和6年 12月17日	秋田市 ANAクラウン プラザホテル 秋田	【議事】 1 令和6年度中間・決算報告 2 中間監査報告 3 令和6年度狂犬病予防注射事業の実施状況 4 令和6年度補正予算（案） 5 役員選任規程の一部改正（案） 6 令和7年度東北地区獣医師大会及び獣医学術東北地区学会 7 会員の動向 【報告事項】 1 代表理事及び業務執行理事の業務報告 2 今後の行事予定について 理事 11 名出席 監事 2 名出席
第5回	令和7年 3月19日	秋田市 イヤタカ	【議事】 1 令和6年度狂犬病予防注射の実績見込み 2 令和7年度事業計画（案） 3 令和7年度東北地区獣医師大会及び獣医学術東北地区学会に係る運営費 4 令和7年度収支予算（案）＜損益ベース＞ 5 役員選任規程の一部改正（案） 【報告事項】 1 代表理事及び業務執行理事の業務報告 2 東北地区獣医師会事務局会議の概要 3 令和7年度役員改選の概要 4 会員の動向 5 関連会議及び行事予定 理事 11 名出席 監事 4 名出席

(3) 業務運営幹部会（三役会）

回次	期 日	場 所	審議事項等
第1回	令和6年 5月9日	秋田市 秋田県獣医師会 会長室	【議案】 ・令和6年度第1回理事会提出議案
第2回	9月4日	秋田市 秋田県獣医師会 会長室	【議案】 ・令和6年度第3回理事会提出議案
第3回	12月5日	秋田市 秋田県獣医師会 会長室	【議案】 ・令和6年度第4回理事会提出議案
第4回	令和7年 3月6日	秋田市 秋田県獣医師会 会長室	【議案】 ・令和6年度第5回理事会提出議案

(4) 監事会

回次	期 日	場 所	案件の概要
第 1 回	令和 6 年 4 月 24 日	秋田市 秋田県獣医師会 事務室	・ 令和 5 年度事業報告及び正味財産増減計算書、貸借対照表・財産目録等について監査を受け、適正と認められた。 ・ 令和 6 年度監査計画について ・ 監事監査日程について ・ 監査事項及び監査の方法等 ・ 監査報告書の作成
第 2 回	11 月 9 日	秋田市 秋田県獣医師会 事務室	・ 令和 6 年度（上半期）事業報告及び正味財産増減計算書、貸借対照表・財産目録等の監査が実施され、監査の結果、適正と認められた。 ・ 監査日程について ・ 監査事項及び監査の方法等 ・ 監査報告書の作成

2 会議等開催状況

(1) 専門部会会議

部会名	開催期日	開催場所	主な検討事項
公衆衛生・人獣共通感染症部会	令和 6 年 7 月 1 日	秋田市 秋田県獣医師会 事務室	1 令和 5 年度東北獣医師会連合会の活動報告 2 令和 6 年度東北地区獣医師大会獣医学術東北地区学会 3 公衆衛生・人獣共通感染症講習会
産業動物部会	令和 6 年 7 月 2 日	秋田市 秋田県獣医師会 事務室	1 令和 5 年度東北獣医師会連合会の活動報告 2 令和 6 年度東北地区獣医師大会獣医学術東北地区学会 3 産業動物講習会
小動物・狂犬病予防部会	令和 6 年 7 月 3 日	秋田市 秋田県獣医師会 事務室	1 令和 5 年度東北獣医師会連合会の活動報告 2 令和 6 年度東北地区獣医師大会獣医学術東北地区学会 3 動物臨床技術講習会 4 令和 6 年度狂犬病予防事業
第 1 回 情報の高度活用及び獣医師会雑誌編集委員会	令和 6 年 8 月 8 日	秋田市 秋田県獣医師会 事務室	1 情報の高度活用及び獣医師会雑誌編集委員の業務 2 秋田県獣医師会雑誌第 129 号の編集 3 秋田県獣医師会雑誌第 130 号の掲載内容 4 公益社団法人秋田県獣医師会ホームページの更新 5 令和 6 年度東北地区獣医師大会及び獣医学術東北地区学会
第 1 回 広報部会	令和 6 年 8 月 22 日	秋田市 秋田県獣医師会	1 情報の高度活用及び獣医師会雑誌編集委員会の概要

		事務室	2 秋田県獣医師会雑誌第 129 号の編集並びに発刊 3 今後の広報活動
ワンヘルス 推進検討委 員会	令和 6 年 12 月 19 日	秋田市 秋田県獣医師会 事務室	1 一般社団法人秋田県医師会との学術 連携に係るこれまでの経緯 2 今後の活動、対応方針及び講習会等 の内容
第 2 回 情報の高度 活用及び獣 医師会雑誌 編集委員会	令和 7 年 1 月 8 日	秋田市 秋田県獣医師会 事務室	1 秋田県獣医師会雑誌第 130 号の編集 2 公益社団法人秋田県獣医師会ホーム ページの更新等
第 2 回 広報部会	令和 7 年 1 月 22 日	秋田市 秋田県獣医師会 事務室	1 情報の高度活用及び獣医師会雑誌 編集委員会の概要 2 秋田県獣医師会雑誌第 130 号の編集 並びに発刊 3 今後の広報活動

(2) 支部事務担当者会議

開催期日	開催場所	会議内容
令和 6 年 7 月 24 日	秋田市 ANA クラウン プラザホテル 秋田	1 令和 6 年度事業計画及び収支予算書 2 狂犬病予防注射の実施状況及び今後の見通し 3 事務事業等の連絡事項 4 令和 7 年度東北地区獣医師大会並びに獣医学術 東北地区学会の開催計画 5 令和 6 年度各種事業（講習会及びイベント等） 6 その他（情報交換等）
令和 7 年 2 月 13 日	秋田市 ANA クラウン プラザホテル 秋田	1 令和 6 年度中間事業・決算報告 2 令和 6 年度狂犬病予防注射の実施状況 ・実施状況及び今後の見通し ・狂犬病予防注射に係る課題等 ・令和 6 年度補正予算 3 事務事業等の連絡事項 4 令和 7 年度東北地区獣医師大会および獣医学術 東北地区学会 5 今後の行事予定 6 その他（情報交換等）

(3) 選挙管理委員会

開催期日	開催場所	審議事項等
令和 7 年 3 月 7 日	秋田市 秋田県獣医師会 事務室	1 令和 7 年度 役員改選に伴う選挙関係の日程 2 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する 法律の一部改正に伴う対応

(4) 事故対策委員会

開催期日	開催場所	審議事項等
令和 6 年 6 月 6 日	秋田市 秋田県獣医師会 事務室	1 狂犬病予防注射（集合注射）における事故の概要 2 対応方針

(5) 組織財政部会

開催期日	開催場所	審議事項等
令和 6 年 11 月 21 日	秋田市 秋田県獣医師会 事務室	1 令和 6 年度狂犬病予防注射事業の進捗状況 2 令和 6 年度中間監査報告 3 令和 6 年度補正予算（案） 4 役員選任規程の一部改正（案）

3 会議・行事等の概要

開催期日	会議・行事名	開催場所	主な内容
令和 6 年 4 月 8 日	東北地区獣医師会事務局長等 会議	青森県青森市 青森県獣医師会館	1 令和 6 年度東北地区獣医師大会 並びに獣医学術東北地区学会の 開催計画（案） 2 令和 6 年度日本獣医師会に 対する要望 3 令和 6 年度東北獣医師会連合会 監査会、理事会、代議員会の開催 （案） 4 令和 6 年度獣医学術東北地区 学会幹事会の開催（案） 5 東北獣医師会連合会役員等 6 令和 6 年度日本獣医師会委託 講習会 7 獣医学術東北地区学会規約改正 （案） 8 東北地区獣医師大会並びに獣医 学術東北地区学会の参加区分 （案）
4 月 9 日	令和 6 年度東北 獣医師会連合会 理事会及び代議 員会	青森県青森市 ホテル青森	【議 事】 1 令和 5 年度事業報告並びに収支 決算の承認 2 令和 6 年度事業計画並びに収支 予算（案） 3 令和 6 年度会費の額並びに徴収 方法（案） 4 東北獣医師会連合会の役員改選 5 獣医学術東北地区学会規約改正 （案） 6 東北地区獣医師大会並びに獣医 学術東北地区学会の参加区分 （案）

令和 6 年 4 月 12 日	令和 6 年度 秋田県畜産共進 会 運 営 協 議 会 総会	秋田市 秋田テルサ	1 令和 5 年度事業報告及び決算 2 令和 6 年度事業計画（案）及び 収支予算（案）
4 月 26 日	令和 6 年度獣医 学術東北地区学 会幹事会	ZOOM による web 会議	1 令和 6 年度東北地区獣医師大会 並びに獣医学術東北地区学会の 開催 2 獣医学術東北地区学会規約の 変更 3 東北地区獣医師大会並びに獣医 学術東北地区学会の参加区分 4 獣医学術東北地区学会褒賞選考 要領 5 獣医学術東北地区学会の運営 6 令和 5 年度獣医学術東北地区 学会の概要
5 月 22 日	令和 6 年度家畜 衛生推進会議	大仙市 南部家畜保健衛 生所	1 家畜保健衛生所関係事業 2 農業公社関係事業 3 家畜衛生研修会
5 月 26 日	ペット防災セミ ナー 主催 秋田県	秋田市 動物愛護センタ ー	1 ペットの災害対策 2 ファミリータイムプランの作成
6 月 2 日	KIDS おしごと ランド	秋田市 セリオン	対象 小学生以下の子供と親 1 獣医師が携わる仕事の紹介 2 マイクロチップの紹介 3 診療器材の展示
6 月 3 日	動物愛護フェス ティバル 実行 委員会	秋田市 秋田県動物愛護 センター	1 動物愛護フェスティバルあきた 2023 の事業報告 2 動物愛護フェスティバルあきた 2024 の開催
6 月 11 日	令和 6 年度家畜 衛 生 事 業 推 進 会議 主催 公益社団法人 秋田県農業公社	秋田市 秋田テルサ	1 牛疾病検査円滑化推進対策事業 2 家畜防疫・衛生指導対策事業 3 家畜防疫互助基金支援事業 4 家畜生産農場衛生対策事業 5 自衛防疫強化対策事業 6 馬伝染性疾病防疫推進対策事業 7 馬飼養衛生管理特別対策事業
6 月 12 日	公益社団法人 秋田県農業公社 令和 6 年度 第 1 回理事会	秋田市 秋田パークホテ ル	1 令和 5 年度事業報告及び財務 諸表等の承認 2 秋田県土地改良事業団体連合会 との契約締結 3 秋田県農業公社職員給与規程の 一部改正 4 令和 6 年度通常総会の招集及び 附議する事項 5 報告事項 6

令和 6 年 6 月 19 日	生乳の安全安心 の確保のための 秋田県協議会	秋田市 秋田県 JA ビル	1 令和 5 年度協議会の取組結果 2 令和 6 年度協議会の取組方針
6 月 26 日	第 81 回 公益社団法人 日本獣医師会 通常総会	東京都 明治記念館	【 議 事 】 1 令和 5 年度事業報告 2 令和 5 年度決算 3 令和 6 年度事業計画 4 令和 6 年度予算 5 会費及び賛助会費 6 役員選任
7 月 11 日	令和 6 年度 畜産試験場研究 運営協議会	大仙市 畜産試験場	1 令和 6 年度畜産試験場重点事項 2 今後の研究課題 3 話題提供（秋田県立大）
7 月 19 日	全国獣医師会 事務・事業推進 会議	東京都 都市センター ホテル	1 獣医学術講習会研修会事業及び 獣医療提供体制整備推進総合 対策事業 2 認定・専門獣医師制度 3 農場管理認定獣医師制度 4 2024 動物感謝デー in JAPAN World Veterinary Day の開催 5 獣医療証明様式提供事業 6 マイクロチップ装着・登録の義務 化に向けた対応に 関する件 7 アジア獣医師連合（FAVA）大会 に関する件 8 世界獣医師会（WVAC）の日本 開催に関する件 9 日本獣医師会獣医師福祉共済 事業
7 月 23 日	令和 6 年度 市町村等狂犬病 予防業務担当者 会議	秋田市 秋田県動物愛護 センター	1 令和 5 年度狂犬病予防関係業務 の実績 2 令和 6 年度狂犬病予防注射（集 合注射）実施状況 3 狂犬病について 4 狂犬病予防注射推進に係る広報 活動について 5 市町村担当との意見交換
7 月 25 日	令和 6 年度 秋田県家畜自衛 防疫協議会 理事・総会	秋田市 イヤタカ	1 令和 6 年度通常総会提出議案の 承認 2 令和 5 年度事業報告及び収支 決算の承認 3 令和 6 年度事業計画（案）及び 収支予算（案）の承認 4 令和 6 年度会費の徴収

令和 6 年 7 月 25 日	令和 6 年度 秋田県畜産技術 者連盟総会	秋田市 イヤタカ	1 令和 5 年度事業報告及び決算 2 令和 6 年度事業計画（案）及び 収支予算（案） 3 令和 6 年度会費の徴収
7 月 26 日	学 校 動 物 飼 育 支 援	秋田市 市立桜小学校	1 獣医師のお仕事紹介・情操教育 2 動物（猫、鶏）とのふれあい体験
8 月 1 日	あきた総合家畜 市場運営協議会 （南部地域）	湯沢市 湯 沢 ロ イ ヤ ル ホテル	1 令和 6 年度家畜市場第 1 四半期 結果 2 令和 5 年度市場運営協議内容 3 事故対策費支出規定一部新設 及び改正 4 上場子牛の斉一性と損傷の報告 5 市場運営に関する要望・対策
8 月 2 日	産業動物獣医師 体験研修 主催 秋田県 協賛 秋田県獣医師会	大仙市 畜産センター 畜産試験場 秋田市 中央家畜保健衛 生所	対象（参加） ・高校生の親子 10 組 20 人 1 家畜の健康診断、血液検査 2 家畜の疾病診断 3 産業動物獣医師の業務紹介 4 若手獣医師のアドバイス 5 修学資金・地域枠制度説明
8 月 9 日	動物愛護センタ ー獣医師体験研 修 主催 秋田県 協賛 秋田県獣医師会	秋田市 秋田県動物愛護 センター	対象（参加） ・高校生の親子 10 組 20 人 1 動物愛護センターの概要・施設 見学 2 飼養管理体験、獣医師体験 3 公衆衛生獣医師の業務紹介 4 若手獣医師のアドバイス 5 修学資金・地域枠制度説明
9 月 20 日	令和 6 年度全国 獣 医 師 会 会 長 会議 藏内勇夫会長 世界獣医師会 （WVA）次期 会長就任祝賀会	東京都 明治記念館	【 説明・報告事項 】 1 マイクロチップの登録等 2 政策提言活動等 3 認定・専門獣医師制度 4 小動物獣医療における遠隔診察 5 ワンヘルスの推進 6 第 42 回日本獣医師会獣医学術 学会年次大会（令和 6 年度）の 開催等 7 令和 6 年度動物愛護週間中央 行事及び 2024 動物感謝デー in Japan ” World Veterinary Day” 8 第 23 回アジア獣医師会連合 （FAVA）大会の開催 9 世界獣医師大会（WVAC）の日本 開催 10 公益社団法人日本獣医師会

			藏内勇夫会長 世界獣医師会 (WVAC) 次期会長就任祝賀会 【 連絡事項 】 1 当面の主要会議等の開催 2 日本獣医師連盟の活動報告 【会長会議終了後】 藏内勇夫会長 世界獣医師会 (WVA) 次期会長就任祝賀会
令和 6 年 9 月 21 日	2024 動物感謝デーin Japan” World Veterinary Day”	東京都 駒沢オリンピッ ク公園	・開会式 10：00～11：00 (以降はイベントプログラムどおり) ・東北獣医師会連合会でブースを 設置
9 月 23 日	第 5 回 防災 キャンプフェス (2024AKITA 防災キャンプ フェス)	秋田市 日本赤十字病院 秋田看護大学・ 秋田短期大学 グラウンド・ 校舎	展示のテーマ 「ペットの防災 自然災害に備えよう！」 ・同伴避難場所等で活用する当会の 備蓄品 (避難用テント)、防災グッ ズ等を展示
10 月 17 日	令和 6 年度 北海道・東北地 区獣医師会事務 局会議	山形県 ホテルビュー くろだ	【 報告事項 】 令和 6 年度東北地区獣医師大会・ 獣医学術東北地区学会の開催概要 【 協議事項 】 1 マイクロチップの装着等の義務 化に係る狂犬病予防法の特例 制度に対する各獣医師会の今後 の方針 2 獣医師会会員による被災動物の 一時預かり支援等 3 各地方会における諸問題 4 日本獣医師会からの情報 提供
10 月 22 日	第 109 回 鹿角畜産共進会	鹿角市 鹿角家畜市場	・出陳 17 頭 ・褒賞提供 3 点
12 月 6 日	令和 6 年度 伝達講習会 主催 由利獣医師協議 会	由利本荘市 安楽温泉	1 講習 (1) 令和 6 年度東北地区獣医師 大会・獣医学術東北地区学会 (2) 令和 6 年度産業動物臨床講習会 2 令和 6 年度狂犬病予防注射実績 3 獣医師法第 22 条の規定による 届出
令和 7 年 1 月 23 日	獣医師確保対策 連絡協議会	秋田市 秋田県農業共済 会館	1 令和 6 年度獣医師確保対策事業 2 令和 7 年度獣医師養成確保就学 資金給付事業 3 家畜診療所の運営状況
1 月 30 日	第 70 回 秋田県獣医畜産 技術研究発表会	秋田市 イヤタカ	1 家畜衛生の部 7 題 2 獣医畜産の部 4 題

令和 7 年 2 月 6 日	東北地区獣医師 会事務局会議	秋田市 ANA クラウン プラザホテル秋 田	1 令和 7 年度東北地区獣医師大会・ 獣医学術東北地区学会の開催 計画（案） 2 令和 7 年度日本獣医師会に対 する要望事項（案） 3 会議等開催状況及び開催計画 （案） 4 日本獣医師会役員候補者等の 推薦 5 各地方獣医師会への照会事項 6 日本獣医師会からの情報提供
2 月 7 日	視察研修	秋田市 大森山動物園	1 動物園業務の概要説明 2 展示動物、診療室等の施設を視察
2 月 9 日	狂犬病対策検討 会・人と動物の 共通感染症対策 検討委員会合同 講習会 主催 公益社団法人 東京都獣医師会	東京都 ビジョンセンタ ー西新宿	テーマ 世界の狂犬病と日本の 狂犬病 演題(1) 世界の狂犬病についての トピックス 講師 国立感染症研究所 井上 智 先生 演題(2) 日本の狂犬病について 振り返る 講師 狂犬病臨床研究会 会長 佐藤 克 先生
2 月 12 日	家畜診療所運営 委員会	秋田市 秋田県農業共済 会館	1 令和 6 年度家畜共済事業実績 2 令和 6 年度家畜診療所運営状況 3 獣医師確保対策 4 家畜診療所の諸課題 5 事故外診療料金表の改定
2 月 18 日	秋田市 狂犬病予防業務 担当者会議	秋田市 秋田市保健所	1 令和 6 年度狂犬病予防業務実績 2 令和 7 年度狂犬病予防業務の 進め方
2 月 21 日	新公益法人制度 説明会 主催 秋田県	Web 参加	1 概要・背景 2 各規律について (1) 財務規律の柔軟化・明確化 (2) 行政手続きの簡素化・合理化 (3) 自律的ガバナンスの充実、 透明性の向上 3 定期提出書類の切り替わり 4 会計基準の見直し
2 月 22 日	令和 7 年度 秋田県公衆衛生 獣医師協議会 総会	秋田市 秋田県総合生活 文化会館 (アトリオン)	【 総 会 】 1 令和 6 年度事業報告及び収支 決算報告（見込み） 2 令和 7 年度事業計画案及び収支 予算案 3 令和 7 年度役員改選案 【 研修会：特別講演 】

			演題 家畜保健衛生所における 動物感染症対策について 講師 南部家畜保健衛生所 チームリーダー 須田朋洋 氏
令和 7 年 3 月 12 日	公益社団法人 秋田県農業公社 第 2 回理事会	秋田市 アキタパークホ テル	【 議 事 】 1 令和 7 年度事計画及び収支予算 2 公益社団法人秋田県農業公社 への入会 3 令和 7 年度賦課金の額及び徴収 方法 4 令和 7 年度借入金の限度額 5 実施事業の変更に伴う公益法人 変更認定申請 6 秋田県土地改良事業団体連合会 との契約締結 7 秋田県農業共済組合との契約 締結 8 肉用牛肥育経営安定交付金制度 に係る手数料の額 9 肉用子牛生産者補給金制度の 新業務対象年間移行に伴う処理 10 公益社団法人秋田県農業公社 就業規則の一部改正 11 公益社団法人秋田県農業公社 組織規程の一部改正 12 公益社団法人秋田県農業公社 職員給与規程の一部改正 13 公益社団法人秋田県農業公社 臨時職員就業規程の一部改正 【 報告事項 】 1 職務執行状況の報告
3 月 15 日	高齢者とペット の福祉を考える 県民フォーラム	秋田市 ANA クラウン プラザホテル	基調講演 「高齢者と伴侶動物の福祉を考え る ～豊かな共生を目指して～」 講師 横浜国立大学 准教授 安野 舞子 先生 パネルディスカッション 「高齢者とペットが共に幸せに 生きられる地域づくりに向けて」 パネラー ・ 秋田県動物愛護センター所長 ・ ケアプラン支援センター ふきのとう 管理者 ・ (一社) 飼い主サポート新潟

4 専門部会委員名簿【任期：令和5年度総会の日から令和7年度総会の日まで】

◎は部会長又は委員長、○は学会幹事

(1) 産業動物部会委員（8名）

氏 名	所 属	摘 要
◎伊豆 肇	由利支部（開業）	県獣理事
○安田 正明	秋田支部（中央家畜保健衛生所）	産業動物学会幹事
山田 典子	北秋田支部（北部家畜保健衛生所）	
大道 綾乃	北秋田支部（開業）	
山口 恭代	秋田支部（畜産振興課）	
加藤真姫子	仙北支部（畜産試験場）	
真田慶之助	仙北支部（県南家畜診療所）	
武田 浩輝	横手支部（開業）	

(2) 小動物・狂犬病予防部会委員（8名）

氏 名	所 属	摘 要
◎松野 実	秋田支部（開業）	県獣理事
○小野 郁男	由利支部（開業）	小動物学会幹事
小山 真人	山本支部（山本地域振興局）	
西村 裕之	山本支部（開業）	
金 理枝子	秋田支部（動物愛護センター）	
高橋 拓	秋田支部（秋田市保健所）	
庄司 浩	秋田支部（開業）	
小南 好慎	仙北支部（開業）	

(3) 公衆衛生・人獣共通感染症部会委員（7名）

氏 名	所 属	摘 要
◎齊藤志保子	秋田支部	県獣理事
○長谷川博之	秋田支部（動物愛護センター）	獣医公衆衛生学会幹事
中野 秀樹	鹿角支部（秋田県食肉衛生検査所）	
三浦 聡子	秋田支部（生活衛生課）	
安田 有	秋田支部（南部家畜保健衛生所）	
柴田 千秋	秋田支部（秋田市食肉衛生検査所）	
三浦 匡哉	秋田支部（大森山動物園）	

◆ 秋田県ワンヘルス推進検討委員会（6名）

（公衆衛生・人獣共通感染症部会に属する委員会）

氏 名	所 属	摘 要
◎小松 守	秋田支部（大森山動物園）	
齊藤志保子	秋田支部	
松田 幸久	秋田支部	
櫻田フジト	鹿角支部（秋田県食肉衛生検査所）	
安田 正明	秋田支部（中央家畜保健衛生所）	
八重樫 良	秋田支部（秋田市食肉衛生検査所）	

(4) 広報部会委員（7名）

氏 名	所 属	摘 要
◎太田 和広	仙北支部	県獣理事
小松 守	秋田支部（大森山動物園）	
福間 幹大	秋田支部（生活衛生課）	
千葉 脩史	秋田支部（畜産振興課）	
小川 秀治	秋田支部（中央家畜保健衛生所）	
伊藤 賢	秋田支部（開業）	
與齊 祐子	由利支部（開業）	

◆ 情報の高度活用及び獣医師会雑誌編集委員会委員（6名）

（広報部会に属する委員会）

氏 名	所 属	摘 要
◎小川 秀治	秋田支部（中央家畜保健衛生所）	
福間 幹大	秋田支部（生活衛生課）	
李 英輝	秋田支部（畜産振興課）	
高橋 拓	秋田支部（秋田市保健所）	
柿野 淳	秋田支部（開業）	
今野 誠	由利支部（中央部家畜診療所）	

(5) 組織財政部会委員（6名）

氏 名	所 属	摘 要
◎高橋 朝夫	仙北支部	県獣理事
加賀 千光	山本支部	
鈴木 篤	秋田支部（開業）	
鈴木 敏規	由利支部（開業）	
與齊 和博	由利支部（開業）	
加沢 敏明	仙北支部（開業）	

(6) 事故対策委員会委員（5名）

氏 名	所 属	摘 要
藤原 憲	雄勝支部（開業）	県獣副会長
佐藤 満雄	山本支部（開業）	県獣副会長
若松 清則	北秋田支部（開業）	
長谷川博之	秋田支部（動物愛護センター）	
福間 幹大	秋田支部（生活衛生課）	

(7) 選挙管理委員会委員（5名）

氏 名	所 属	摘 要
◎嵯峨 裕	秋田支部	
佐藤 政善	由利支部	
佐藤 徹也	山本支部（山本地域振興局）	
金 和浩	秋田支部（秋田地域振興局）	
藤島 信賢	雄勝支部（開業）	

任期 令和6年3月18日～令和8年3月17日

貸借対照表

令和 7年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	11,917,253	17,167,519	△ 5,250,266
未収金	30,500	18,890	11,610
貯蔵品	10,762,840	11,133,825	△ 370,985
立替金	10,000	110	9,890
前払費用	141,020	670,913	△ 529,893
流動資産合計	22,861,613	28,991,257	△ 6,129,644
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	1,020,000	510,000	510,000
積立預金	28,941,780	27,891,780	1,050,000
特定資産合計	29,961,780	28,401,780	1,560,000
(3) その他固定資産			
什器備品	250,539	3	250,536
敷金	30,000	30,000	0
その他固定資産合計	280,539	30,003	250,536
固定資産合計	30,242,319	28,431,783	1,810,536
資産合計	53,103,932	57,423,040	△ 4,319,108
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	9,875,250	8,786,250	1,089,000
未払金	447,942	542,044	△ 94,102
預り金	77,886	770,607	△ 692,721
流動負債合計	10,401,078	10,098,901	302,177
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	1,020,000	510,000	510,000
固定負債合計	1,020,000	510,000	510,000
負債合計	11,421,078	10,608,901	812,177
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	41,682,854	46,814,139	△ 5,131,285
(うち特定資産への充当額)	27,161,963	25,601,963	1,560,000
正味財産合計	41,682,854	46,814,139	△ 5,131,285
負債及び正味財産合計	53,103,932	57,423,040	△ 4,319,108

未収金内訳書

相手先	摘 要	当期末残高
秋田県医師会	令和6年度秋田県医師会・秋田県獣医師会合同県民公開講座費用	30,500
合 計		B/S 30,500

貯蔵品内訳書

相手先	摘 要	当期末残高
小田島商事(株)	令和7年2月購入分ワクチン	4,925,250
M P アグロ(株)	令和7年2月購入分ワクチン	4,950,000
	令和6年購入ワクチン在庫	759,000
	販売用県証紙棚卸	58,000
	販売用証明書棚卸	70,590
合 計		B/S 10,762,840

立替金内訳書

相手先	摘 要	当期末残高
日本獣医師会	香典立替	10,000
合 計		B/S 10,000

前払費用内訳書

相手先	摘 要	当期末残高
損保ジャパン	令和6年度狂犬病予防注射事業賠償責任保険	32,500
貸主 池田則男	由利支部4月分事務所賃借料	55,000
秋田県農業共済組合	農業共済新聞年間購読料	5,520
公益社団法人日本獣医師会	令和5年度事務局サイバー保険料	48,000
合 計		B/S 141,020

買掛金内訳書

相手先	摘 要	当期末残高
小田島商事(株)	令和7年2月購入分ワクチン	4,925,250
M P アグロ(株)	令和7年2月購入分ワクチン	4,950,000
合 計		B/S 9,875,250

未払金内訳書

相手先	摘 要	当期末残高
日本年金機構	令和7年2月分社会保険料事業主負担分	65,511
(株) テレマーカー	令和7年2月分電話料金	6,742
リコージャパン (株)	令和7年3月分プロバイダー料金	4,928
富士フイルム B I 秋田 (株)	令和7年3月分 P C セキュリティーサービス利用料	7,480
(株) トラパンツ	令和7年3月分サーバーシステム利用料	10,120
日本郵便 (株)	令和7年3月分料金後納郵便料金	4,142
佐川急便 (株)	令和7年3月分宅配料金	484
(株) 山二	令和7年3月分灯油代	4,032
NTTファイナンス (株)	令和7年1月弔電代	3,190
一般社団法人秋田県医師会	令和6年度秋田県医師会・秋田県獣医師会県民公開講座開催費用	199,582
(株) アイネックス	白黒プリンタードラム、トナーカートリッジ	53,130
(株) アイネックス	令和7年2月分コピー料金	45,211
NTTファイナンス (株)	令和7年2月分電話料金 (北秋田支部)	8,570
ヤマト運輸 (株)	令和7年2月分宅配料金 (北秋田支部)	8,283
NTTファイナンス (株)	令和6年2月分電話料金 (山本支部)	10,175
NTTファイナンス (株)	令和7年2月分電話料金 (秋田支部)	5,580
日本郵便 (株)	令和7年3月分料金後納郵便料金(秋田支部)	4,708
鈴木商事(株)	令和7年3月分ガス料金 (仙北支部)	6,074
合 計		B/S 447,942

預り金内訳書

相手先	摘 要	当期末残高
日本年金機構	令和7年2月分社会保険料被保険者負担分	63,962
秋田南税務署	令和7年3月分源泉所得税	12,244
山本支部会員	令和6年10月～2月分個別事務受託料 (藤里町)	1,680
合 計		B/S 77,886

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	80,000	30,000	50,000
受取入会金	80,000	30,000	50,000
受取会費	13,431,200	13,665,600	△ 234,400
一般受取会費	3,150,000	3,150,000	0
特別受取会費	10,261,200	10,495,600	△ 234,400
賛助受取会費	20,000	20,000	0
事業収益	75,843,100	77,527,000	△ 1,683,900
狂犬病予防推進事業収益	75,655,700	77,381,450	△ 1,725,750
県証紙売捌事業収益	38,900	50,200	△ 11,300
証明書等頒布事業収益	148,500	95,350	53,150
受取補助金等	5,226,287	5,171,244	55,043
受取地方公共団体補助金	78,323	0	78,323
登録事務受託収益	145,171	103,697	41,474
済票交付事務受託収益	2,264,906	2,304,736	△ 39,830
通知事務受託収益	2,666,235	2,680,425	△ 14,190
日獣講習会受託収益	71,652	82,386	△ 10,734
受取負担金	230,000	260,000	△ 30,000
受取負担金	230,000	260,000	△ 30,000
雑収益	50,057	220,763	△ 170,706
受取利息	5,458	115	5,343
雑収益	44,599	220,648	△ 176,049
経常収益計	94,860,644	96,874,607	△ 2,013,963
(2) 経常費用			
事業費	91,593,223	92,525,404	△ 932,181
役員報酬	2,918,000	2,888,000	30,000
給料手当	8,385,752	7,775,320	610,432
臨時雇賃金	2,264,460	2,342,120	△ 77,660
退職給付費用	408,000	408,000	0
福利厚生費	1,301,355	1,043,010	258,345
県証紙仕入高	38,900	50,200	△ 11,300
薬品費	10,192,875	10,432,125	△ 239,250
技術料	40,531,740	41,457,620	△ 925,880
会議費	709,424	551,075	158,349
証明書仕入高	90,460	63,940	26,520
旅費交通費	2,402,868	2,666,764	△ 263,896
通信運搬費	3,150,968	3,233,882	△ 82,914
減価償却費	35,871	0	35,871
消耗品費	1,514,682	1,786,414	△ 271,732
修繕費	3,300	30,250	△ 26,950
印刷製本費	1,302,100	1,235,830	66,270
広報活動費	1,050,540	775,540	275,000
光熱水料費	1,008,514	912,326	96,188
賃借料	9,424,851	9,019,574	405,277
保険料	169,870	170,750	△ 880
諸謝金	169,685	144,000	25,685
租税公課	1,133,100	2,502,700	△ 1,369,600
支払負担金	633,000	673,000	△ 40,000
支払助成金	589,000	514,000	75,000
委託費	1,416,300	1,393,500	22,800
雑費	747,608	455,464	292,144
管理費	8,314,006	8,286,381	27,625
役員報酬	1,244,000	1,352,000	△ 108,000
給料手当	554,360	521,680	32,680
退職給付費用	102,000	142,000	△ 40,000
福利厚生費	263,102	224,073	39,029
会議費	1,071,333	1,113,687	△ 42,354
旅費交通費	912,320	882,956	29,364
通信運搬費	114,386	134,760	△ 20,374
消耗品費	236,589	231,572	5,017
修繕費	137,760	181,460	△ 43,700
印刷製本費	578,600	549,120	29,480
光熱水料費	86,821	75,749	11,072
賃借料	325,162	275,124	50,038
諸謝金	839,777	745,289	94,488
租税公課	480	480	0
支払負担金	1,720,000	1,711,000	9,000
支払寄付金	0	24,000	△ 24,000
雑費	127,316	121,431	5,885
経常費用計	99,907,229	100,811,785	△ 904,556
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,046,585	△ 3,937,178	△ 1,109,407
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,046,585	△ 3,937,178	△ 1,109,407
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 5,046,585	△ 3,937,178	△ 1,109,407
法人税及び住民税、事業税	84,700	83,700	1,000
当期一般正味財産増減額	△ 5,131,285	△ 4,020,878	△ 1,110,407
一般正味財産期首残高	46,814,139	50,835,017	△ 4,020,878
一般正味財産期末残高	41,682,854	46,814,139	△ 5,131,285
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	41,682,854	46,814,139	△ 5,131,285

正味財産増減計算書内訳表
令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益その他事業会計		法人会計	合計
		収益事業	相互扶助等事業		
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取入会金	24,000	0	0	56,000	80,000
受取入会金	24,000	0	0	56,000	80,000
受取会費	4,132,172	0	671,213	8,627,815	13,431,200
一般受取会費	945,000	0	670,213	1,534,787	3,150,000
特別受取会費	3,180,972	0	0	7,080,228	10,261,200
賛助受取会費	6,200	0	1,000	12,800	20,000
事業収益	75,655,700	187,400	0	0	75,843,100
狂犬病予防推進事業収益	75,655,700	0	0	0	75,655,700
県証紙売却事業収益	0	38,900	0	0	38,900
証明書等頒布事業収益	0	148,500	0	0	148,500
受取補助金等	5,147,964	0	78,323	0	5,226,287
受取地方公共団体補助金	0	0	78,323	0	78,323
登録事務受託収益	145,171	0	0	0	145,171
済票交付事務受託収益	2,264,906	0	0	0	2,264,906
通知事務受託収益	2,666,235	0	0	0	2,666,235
日獣講習会受託収益	71,652	0	0	0	71,652
受取負担金	0	0	0	230,000	230,000
受取負担金	0	0	0	230,000	230,000
雑収益	4,846	2,497	42,319	395	50,057
受取利息	4,846	217	0	395	5,458
雑収益	0	2,280	42,319	0	44,599
経常収益計	84,964,682	189,897	791,855	8,914,210	94,860,644
(2) 経常費用					
事業費	90,668,034	133,334	791,855	0	91,593,223
役員報酬	2,918,000	0	0	0	2,918,000
給料手当	8,385,752	0	0	0	8,385,752
臨時雇賃金	2,264,460	0	0	0	2,264,460
退職給付費用	408,000	0	0	0	408,000
福利厚生費	1,090,258	0	211,097	0	1,301,355
県証紙仕入高	0	38,900	0	0	38,900
薬品費	10,192,875	0	0	0	10,192,875
技術料	40,531,740	0	0	0	40,531,740
会議費	677,424	0	32,000	0	709,424
証明書仕入高	0	90,460	0	0	90,460
旅費交通費	2,265,328	0	137,540	0	2,402,868
通信運搬費	3,130,647	3,094	17,227	0	3,150,968
減価償却費	35,871	0	0	0	35,871
消耗品費	1,498,523	0	16,159	0	1,514,682
修繕費	3,300	0	0	0	3,300
印刷製本費	1,207,225	0	94,875	0	1,302,100
広報活動費	1,050,540	0	0	0	1,050,540
光熱水料費	1,008,514	0	0	0	1,008,514
賃借料	9,424,851	0	0	0	9,424,851
保険料	169,870	0	0	0	169,870
諸謝金	169,685	0	0	0	169,685
租税公課	1,133,100	0	0	0	1,133,100
支払負担金	633,000	0	0	0	633,000
支払助成金	519,000	0	70,000	0	589,000
委託費	1,416,300	0	0	0	1,416,300
雑費	533,771	880	212,957	0	747,608
管理費	0	0	0	8,314,006	8,314,006
役員報酬	0	0	0	1,244,000	1,244,000
給料手当	0	0	0	554,360	554,360
退職給付費用	0	0	0	102,000	102,000
福利厚生費	0	0	0	263,102	263,102
会議費	0	0	0	1,071,333	1,071,333
旅費交通費	0	0	0	912,320	912,320
通信運搬費	0	0	0	114,386	114,386
消耗品費	0	0	0	236,589	236,589
修繕費	0	0	0	137,760	137,760
印刷製本費	0	0	0	578,600	578,600
光熱水料費	0	0	0	86,821	86,821
賃借料	0	0	0	325,162	325,162
諸謝金	0	0	0	839,777	839,777
租税公課	0	0	0	480	480
支払負担金	0	0	0	1,720,000	1,720,000
雑費	0	0	0	127,316	127,316
経常費用計	90,668,034	133,334	791,855	8,314,006	99,907,229
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,703,352	56,563	0	600,204	△ 5,046,585
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,703,352	56,563	0	600,204	△ 5,046,585
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 5,703,352	56,563	0	600,204	△ 5,046,585
他会計振替額	28,282	△ 28,282	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 5,675,070	28,281	0	600,204	△ 5,046,585
法人税及び住民税、事業税	0	84,700	0	0	84,700
当期一般正味財産増減額	△ 5,675,070	△ 56,419	0	600,204	△ 5,131,285
一般正味財産期首残高	16,072,475	△ 332,881	3,782,454	27,292,091	46,814,139
一般正味財産期末残高	10,397,405	△ 389,300	3,782,454	27,892,295	41,682,854
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	10,397,405	△ 389,300	3,782,454	27,892,295	41,682,854

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 本計算書類は、公益法人会計基準（平成20年4月11日、平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会）に基づき作成しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

取得価額が10万円以上のものについて、見積耐用年数に基づいて、定額法で償却しております。
なお、取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は4に記載のとおりであります。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末現在の退職給付の要支給額に相当する金額を計上しております。

(4) 消費税等の会計処理

税込方式を採用しております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	510,000	510,000	0	1,020,000
東北大会等積立預金	17,895,403	1,000,000	0	18,895,403
周年記念事業積立預金	3,977,454	500,000	450,000	4,027,454
被災動物救護対策積立預金	6,018,923	0	0	6,018,923
小 計	28,401,780	2,010,000	450,000	29,961,780
合 計	28,401,780	2,010,000	450,000	29,961,780

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。（単位：円）

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	1,020,000	(0)	(0)	(1,020,000)
東北大会等積立預金	18,895,403	(0)	(18,895,403)	(0)
周年記念事業積立預金	4,027,454	(0)	(4,027,454)	(0)
被災動物救護対策積立預金	6,018,923	(0)	(6,018,923)	(0)
小 計	29,961,780	(0)	(28,941,780)	(1,020,000)
合 計	29,961,780	(0)	(28,941,780)	(1,020,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

（単位：円）

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,262,907	1,012,368	250,539
合計	1,262,907	1,012,368	250,539

5. リース取引の処理方法

リース取引の処理方法は、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
尚、当該事業年度の末日における未経過リース料は1,482,690円であります。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

- ・基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記2のとおりである。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
役員退職給付引当金	510,000	510,000	0	0	1,020,000
合 計	510,000	510,000	0	0	1,020,000

財産目録

令和 7年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等	金 額
(流動資産)	預金	普通預金			11,917,253
		北都銀行秋田駅前支店			
		0302***本会		運転資金として	4,223,260
		0765***本会		運転資金として	12,244
		6072***本会		運転資金として	7,291,253
		8118***本会		運転資金として	0
		6139***鹿角支部		運転資金として	0
		6139***北秋田支部		運転資金として	0
		6139***山本支部		運転資金として	0
		6139***秋田支部		運転資金として	0
		6139***由利支部		運転資金として	0
		6139***仙北支部		運転資金として	0
		6139***横手支部		運転資金として	0
		6139***雄勝支部		運転資金として	0
未収金	秋田銀行秋田駅前支店				
	0669***本会		運転資金として	390,496	
	貯蔵品			30,500	
	立替金			10,762,840	
	前払費用			10,000	
				141,020	
流動資産合計					22,861,613
(固定資産)	特定資産	退職給付引当資産			
		退職給付引当資産			
		北都銀行秋田駅前支店		役員の退職に備え役員退職慰労金の	1,020,000
		6072***本会		期末要支給額を保全するもの	1,020,000
		積立預金			28,941,780
		東北大会等積立資産		獣医学術向上及び研修会等開催事業の中で東北大会を開催するための準備金である	18,895,403
		周年記念事業積立資産		相互扶助等事業の中で周年記念式典を開催するための準備金である	4,027,454
		被災動物救護対策積立資産		災害時動物救護対策の中で、災害時に被災動物の避難・救護体制を、構築するための準備金である	6,018,923
		その他固定資産			
		什器備品			250,539
		エアコン		公益目的事業を行う支部事務室に設置している保有財産である	250,536
		診察台、発電機		公益目的事業に供している保有財産である	3
		プロジェクター		公益9、法人1の割合で供している保有財産である	
		敷金		(有)越前ビル	山本支部事務所
固定資産合計					30,242,319
資産合計					53,103,932
(流動負債)	買掛金	内訳書のとおり			9,875,250
		未払金			447,942
		預り金			77,886
		流動負債合計			
(固定負債)	役員退職慰労引当金			役員に対する退職金の支払いに備えたもの	1,020,000
		固定負債合計			
負債合計					11,421,078
正味財産					41,682,854

監 査 報 告

私たち監事は、公益社団法人秋田県獣医師会定款第 26 条及び監事監査規程第 9 条の規定に基づき、令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までの事業年度の業務及び会計について監査を実施しました。

その方法及び結果について、次のとおり報告します。

1 監査方法の概要

各監事は、理事会に出席するほか、理事から事業執行状況及び決算の内容について説明を受けるとともに、重要な決裁書類等を閲覧し、事業報告書、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録について監査を実施しました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款並びに事業計画書に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 計算書類及び附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。

令和 7 年 4 月 22 日

公益社団法人秋田県獣医師会

代表監事	佐藤 行
監 事	佐藤 伸行
監 事	須田 宏司

第 2 号議案 公益社団法人秋田県獣医師会役員選任規程の一部改正について

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（以下「本法」）の一部が改正され、令和 7 年 4 月 1 日から施行された。本法の一部改正により、公益社団法人に対する更なる信頼確保のため、自立的ガバナンスの充実、透明性向上を目的に、外部理事及び監事の導入が義務づけられたことから、公益社団法人秋田県獣医師会役員選任規程（以下「規程」）の一部を改正する。

1 一部改正の概要

規程第 3 条 1 項に定める別表 1 の推薦区分に 10 区（外部理事）を追加し、2 項における会長の推薦は、正会員以外の有識者を理事及び監事に推薦できるものに改め、第 4 条 1 項に定める候補者の推薦要件における推薦者の員数を改める。その他所要の改正を行う。

2 公益社団法人秋田県獣医師会役員選任規程（一部改正 案） 新旧対照表

新（該当する条文）	旧（該当する条文）
（役員の推薦区分及び定数） 第 3 条 理事及び監事の推薦区分及び定数は、別表 1 のとおりとする。 2 会長は正会員以外の有識者を<u>理事及び監事</u>に推薦できるものとする。	（役員の推薦区分及び定数） 第 3 条 理事及び監事の推薦区分及び定数は、別表 1 のとおりとする。 2 会長は正会員以外の有識者を監事に推薦できるものとする。
（候補者の推薦要件） 第 4 条 理事及び監事の推薦要件は、次のとおりとする。 （1）<u>5 名以上</u>の正会員から推薦された者とする。ただし、正会員は複数の候補者を推薦できないものとする。 （2）会長が推薦し、理事会の議決を得た者とする。ただし、会長の推薦は別表 1 の<u>9 区及び 10 区</u>の理事並びに全域 <u>かつ</u> 正会員以外の監事とする。	（候補者の推薦要件） 第 4 条 理事及び監事の推薦要件は、次のとおりとする。 （1）<u>10 名以上</u>の正会員から推薦された者とする。ただし、正会員は複数の候補者を推薦できないものとする。 （2）会長が推薦し、理事会の議決を得た者とする。ただし、会長の推薦は別表 1 の<u>1 の 9 区（全域）理事及び全域又は</u>正会員以外の監事とする。
（推薦の方法） 第 5 条 理事及び監事の推薦の方法は、次のとおりとする。 （1）略 （2）別表 1 に定める <u>9 区及び 10 区</u>の理事並びに全域 <u>かつ</u> 正会員以外の監事は、会長の推薦を得た者でなければならない。 （3）及び（4）略	（推薦の方法） 第 5 条 理事及び監事の推薦の方法は、次のとおりとする。 （1）略 （2）別表 1 に定める <u>9 区</u>の理事及び正会員以外の監事は、会長の推薦を得た者でなければならない。 （3）及び（4）略

別表 1 1. 理事の推薦区分及び定数 1 区～8 区 略 9 区 <u>全域</u> 10 区 <u>全域かつ会長が推薦する正会員以外の有識者</u> <u>区域名 全県</u> <u>定数 1</u> 2. 監事の推薦区分及び定数 <u>全域かつ会長が推薦する正会員以外の有識者</u> <u>定数 1</u> 付 則 1～5 略 7 この規程は、令和 7 年 月 日から施行する。	別表 1 1. 理事の推薦区分及び定数 1 区～8 区 略 9 区 <u>全域及び正会員以外</u> 2. 監事の推薦区分及び定数 <u>全域又は正会員以外</u> <u>定数 1</u> 付 則 1～5 略
---	--

公益社団法人秋田県獣医師会役員選任規程（全文 案）

（目的）

第 1 条 公益社団法人秋田県獣医師会定款第 2 4 条の規定に基づく役員の選任については、定款に定めるところによるほかこの規程によるものとする。

（役員の選任方法）

第 2 条 役員の選任は、正会員のうちから候補者を推薦し、当該候補者については、総会において、別に定める選挙管理規程に基づき選任する。

（役員の推薦区分及び定数）

第 3 条 理事及び監事の推薦区分及び定数は、別表 1 のとおりとする。

2 会長は正会員以外の有識者を理事及び監事に推薦できるものとする。

（候補者の推薦要件）

第 4 条 理事及び監事の推薦要件は、次のとおりとする。

（1）5 名以上の正会員から推薦された者とする。

ただし、正会員は複数の候補者を推薦できないものとする。

（2）会長が推薦し、理事会の議決を得た者とする。ただし、会長の推薦は別表 1 の 9 区及び 10 区の理事並びに全域かつ正会員以外の監事とする。

（推薦の方法）

第 5 条 理事及び監事の推薦の方法は、次のとおりとする。

（1）別表 1 に定める 1 区から 8 区については、正会員の推薦を得た者でなければなら

ない。この場合には、推薦された者が所属する支部の理事候補者としてのみ推薦できるものとし、理事に選任されたときには支部長を兼ねるものとする。ただし、複数の理事が選任される第４区及び第６区については、当該理事の互選により１名を支部長とする。

(２) 別表１に定める９区及び１０区の理事並びに全域かつ正会員以外の監事は、会長の推薦を得た者でなければならない。

(３) 理事推薦区分に係わる１区から８区の監事は、正会員の推薦を得た者でなければならない。

(４) 理事及び監事の推薦については、各区分での重複推薦及び理事と監事の重複推薦をすることはできないものとする。

(立候補の届出)

第６条 役員に立候補しようとする正会員は、第４条に基づく推薦を得て、役員改選総会開催日の２１日前までに、別に定める立候補届を選挙管理委員長に提出しなければならない。

２ 第４条第１項第２号に該当する役員は、別に定める理事会の議決を得た会長の推薦書をもって立候補の届出に代えるものとする。

(会長の推薦時期)

第７条 会長による、役員の推薦時期は役員改選総会開催日の２１日前までとする。

(立候補者の決定)

第８条 選挙管理委員長は、前条の定めによる立候補の届出を締め切った後、遅滞なく委員会を開催し、各候補者について第４条及び第５条に規定する内容を審査し、役員立候補者を決定する。

(選挙の実施)

第９条 理事及び監事の選挙は、別表１の推薦区分ごとに定数を超える立候補者数に達した場合に実施するものとする。

(改廃)

第１０条 この規程の改廃は、総会の議決によるものとする。

附則

この規程は公益社団法人秋田県獣医師会の設立の登記の日から施行する。

附則

この規程は、平成２６年 ６月１３日から施行する。

附則

この規程は、平成２８年 ６月１７日から施行する。

附則

この規程は、令和 年 月 日から施行する。

別表 1

1. 理事の推薦区分及び定数

	推 薦 区 分	区 域 名	定数
1 区	鹿角支部	鹿角市、鹿角郡	1
2 区	北秋田支部	大館市、北秋田市、北秋田郡	1
3 区	山本支部	能代市、山本郡	1
4 区	秋田支部	秋田市、男鹿市、潟上市、 南秋田郡	4 以内
5 区	由利支部	由利本荘市、にかほ市	1
6 区	仙北支部	大仙市、仙北市、仙北郡	2 以内
7 区	横手支部	横手市	1
8 区	雄勝支部	湯沢市、雄勝郡	1
9 区	全域	全県	1
10 区	全域かつ会長が推薦する 正会員以外の有識者	全県	1
合 計			14 以内

2. 監事の推薦区分及び定数

推 薦 区 分	定数
理事推薦区分にかかる 1 区から 8 区	3 以内
全域かつ会長が推薦する正会員以外の有識者	1
合 計	4 以内

立候補届出の様式（第6条第1項関係書類）

年 月 日。

立候補届出書

公益社団法人秋田県獣医師会
選挙管理委員長 様

立候補者氏名 ⑩

公益社団法人秋田県獣医師会役員選任規程第6条第1項の規定に基づき、
(元号) 年 月 日に実施される役員選挙にあたり、理事(又は監事)
として立候補したいので次のとおり届出いたします。

1. 立候補者の略歴

所属支部名(又は部門名)

生 年 月 日

勤務先又は職種

2. 立候補する役員の区分

3. 推薦者氏名(5名以上)

支部名	推薦者氏名 押印
	⑩
	⑩
	⑩
	⑩
	⑩

(注) 推薦者氏名は自署とする。

年 月 日。

役員候補者の推薦書

公益社団法人秋田県獣医師会
選挙管理委員長 様

公益社団法人秋田県獣医師会長 ㊟

公益社団法人秋田県獣医師会役員選任規程第6条第2項の規定に基づき、
(元号) 年 月 日に実施される役員選挙にあたり理事（又は監事）
として次のとおり推薦いたします。

1. 被推薦者の氏名

2. 被推薦者の略歴

生 年 月 日

勤務先又は職種

3. 推薦する役員の区分

第 3 号議案 役員の選任について

【 役員立候補者届出名簿 】

1 理事候補者名簿

氏 名	生年月日	推薦区分	勤務先名等
加 藤 仁	昭和 23 年 12 月 11 日	1 区 鹿角支部	かとう スワインクリニック
若 松 清 則	昭和 34 年 9 月 22 日	2 区 北秋田支部	若松獣医科病院
佐 藤 満 雄	昭和 25 年 10 月 12 日	3 区 山本支部	佐藤獣医科 訪問クリニック
砂 原 和 文	昭和 26 年 1 月 16 日	4 区 秋田支部	砂原動物病院
齊 藤 志保子	昭和 31 年 7 月 21 日	4 区 秋田支部	
松 野 実	昭和 27 年 9 月 5 日	4 区 秋田支部	松野どうぶつ病院
鈴 木 篤	昭和 26 年 10 月 12 日	4 区 秋田支部	
伊 豆 肇	昭和 32 年 1 月 1 日	5 区 由利支部	開業
太 田 和 広	昭和 35 年 7 月 19 日	6 区 仙北支部	ハナダテ カウクリニック
渡 邊 万喜子	昭和 33 年 12 月 3 日	6 区 仙北支部	
竹 田 ゆかり	昭和 41 年 11 月 14 日	7 区 横手支部	パステル動物病院
藤 原 憲	昭和 29 年 2 月 18 日	8 区 雄勝支部	藤原家畜診療所
佐々木 専 悦	昭和 38 年 12 月 25 日	9 区 全域及び 正会員以外	公益社団法人 秋田県獣医師会

2 監事候補者名簿

氏 名	生年月日	推薦区分	勤務先名等
佐 藤 行	昭和 35 年 2 月 17 日	理 事 推 薦 区 分 に かかる 1 区から 8 区	開業
佐 藤 伸 行	昭和 34 年 2 月 1 日	理 事 推 薦 区 分 に かかる 1 区から 8 区	オチアイ カウクリニック
須 田 宏 司	昭和 30 年 5 月 15 日	理 事 推 薦 区 分 に かかる 1 区から 8 区	
渡 部 旭	昭和 53 年 11 月 12 日	全域又は正会員以外	株式会社北都銀行

報告事項 1 令和 7 年度事業計画、収支予算書（損益ベース）について

令和 7 年度 事業計画書

【 実施方針 】

世界的に感染拡大し、社会生活に大きな影響を及ぼした COVID-19（新型コロナウイルス感染症）は、まだ完全には終息していないものの、大勢の人々が必要な対応を行ったうえで、感染症と共存する社会になってきている。

人と動物の共通感染症である新型コロナウイルス感染症、SARS(重症急性呼吸器症候群)、MERS(中東呼吸器症候群)、新型インフルエンザ、狂犬病、SFTS(重症熱性血小板減少症候群)等の「新興・再興感染症」は、いずれも動物由来の人と動物の共通感染症であり、人の感染症の約 6 割を占めている。それら感染症の予防やまん延防止等の対策を講じる上で、人と動物の健康及び環境保全を一体的に推進する「ワンヘルス・アプローチ」の重要性が広く理解されるようになり、動物由来感染症の脅威に対する危機管理意識を共有し、我々獣医師がその専門的知識や技術を発揮して社会に貢献しなければならない。

当会の各種事業の中で主要事業である狂犬病予防事業は、注射実施頭数の減少により厳しい状況ではある。動物の愛護及び管理に関する法律におけるマイクロチップ（MC）装着による犬の登録事務については本事業にも関連しており、MC 法定登録の動向を踏まえ、25 市町村と連携しながら事故のない円滑な実施と運営に努めなければならない。

獣医学術向上及び研修会等開催事業においては、東北地区獣医師大会・獣医学術東北地区学会、日本獣医師会獣医学術学会年次大会等へ積極的に参加し、獣医学術や獣医療に対する最新の知識・技術の研鑽及び人材育成に努める。

また、近年、全国的に自然災害の発生が多く、世界保健機関（WHO）は自然災害を感染症などの生物災害、台風などの気象災害、地震などの地質災害の三つに区分して、それぞれの災害に対する事前の備えを求めている。当会としても危機管理意識を持ちながら、地域社会と連携した被災動物に対する獣医療体制の構築や、県の指導のもと、市町村等との連携体制の強化に努める必要がある。

さらには愛玩動物看護師と連携を図り、人と動物が共生する豊かで健全な社会形成を促進し、安全で安心な県民生活の確保に寄与することができるよう、適正かつ円滑な事業推進を図る必要がある。

そのためには、なお一層の会員各位の協力と団結により、県民に信頼される公益法人としての責務を果たし、令和 7 年 4 月から施行される新たな公益法人制度に則った、組織の透明性（Disclosure）、統治能力（Governance）、法令遵守（Compliance）をさらに強化しながら各種事業に取り組む。

I 公益目的事業

人と動物が共存する豊かで健全な社会形成を促進し、安全で安心な県民生活の確保に寄与することを目的とする事業

1 狂犬病等の人と動物の共通感染症予防推進事業

(1) 狂犬病予防事業

全てのほ乳類が感染する狂犬病は、未だ世界各地で発生しており、流通の国際化などにより侵入経路が多様化していることから、引き続き県や市町村と連携して定期的な「集合注射」を組織的に推進するとともに、「個別注射」についても動物

病院で随時実施する。

また、狂犬病予防注射に起因する事故等が生じた場合は、狂犬病予防注射事故対策規程に基づき迅速かつ的確に処理する。

【 狂犬病予防注射実施計画 】

支部名	計画頭数	注射時期
集合注射	12,500 頭	令和 7 年 4 月～6 月
個別注射	12,500 頭	令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月
合 計	25,000 頭	

(2) 狂犬病以外の人と動物の共通感染症に関する普及啓発

高病原性鳥インフルエンザ、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）、ジカ熱、新型コロナウイルス感染症など、人と動物の共通感染症が大きな社会問題となっている。正しい知識を身につける的確に対応するため、県や医師会等と連携し、人と動物の共通感染症の発生予防や、発生時の対応に関する講習会等を開催するとともに、県民を対象とした公開講座の開催、ホームページへの掲載や各種イベントにおけるリーフレット等の配布などにより、正しい知識の普及啓発を図る。

2 身体障害者補助犬利用者への支援事業

身体障害者補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬等）の健康保持を図るため、狂犬病予防注射料金を支援する。また、日本盲導犬協会が行う盲導犬育成募金への協力の呼びかけも推進する。

3 食中毒予防等対策事業

県民を対象に、生産から食卓までのフードチェーンにおける、食中毒などを含む食品の安全・安心に関する正しい知識の普及啓発に努めるため、一般公開講座等を開催する。また、県、市町村等と共催して研修会を開催し、リーフレットの配布等による普及啓発を行う。

4 高品質な家畜畜産物生産衛生対策事業

産業動物に関わる獣医師等に対する研修を通じ、家畜衛生や公衆衛生に関する知識や技術の習得を図る。また、消費者の求める高品質で安心・安全な畜産物の生産、普及に努め、家畜改良を目的とする畜産共進会へ参加・協力する。さらに、産業動物獣医師が投与する、動物用医薬品の適正使用指導を実施するとともに、薬剤耐性（AMR）対策アクションプランに従い、抗菌剤の慎重使用について徹底を図る。

5 獣医学術向上及び研修会等開催事業

獣医学術や獣医療に関する最新の知識の習得と技術の研鑽、普及に努めるとともに食の安全・安心の確保や、動物の愛護思想に基づく社会形成などの広範な社会責任を担っていることから、人材を育成し技術や知識の向上を図る。

(1) 獣医学術向上普及啓発事業

獣医学術学会や各種講習会の参加者に対して、登録料や助成金を支給するとともに、発表者に対しては奨励金を交付し、獣医療の各分野における専門的知識、高度な技術の習得や人材育成を図る。

- ① 令和 7 年度東北地区獣医師大会及び獣医学術東北地区学会
当会が主催し、東北地区獣医師会の共催により秋田市で開催する。

開催予定月日 令和 7 年 10 月 8 日（水）～9 日（木）
開催予定場所 秋田県秋田市「秋田キャッスルホテル」
参加予定人数 70 名

- ② 第 43 回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和 7 年度）
「同時開催 第 41 回世界獣医師会大会（WVAC）」
開催予定月日 令和 8 年 4 月 21 日（火）～24 日（金）
開催予定場所 東京都「東京国際フォーラム」
開催内容 各種シンポジウム、特別・教育講演、市民公開講座
日本獣医師会学術学会（産業動物・小動物・獣医公衆衛生）
参加予定人数 20 名

- ③ 獣医技術講習会（各年 1 回）

【 産業動物 】

開催予定時期 令和 7 年 10 月
開催予定場所 秋田市

【 獣医公衆衛生 】

開催予定時期 令和 7 年 11 月
開催予定場所 秋田市

【 小動物臨床 】

開催予定時期 令和 7 年 12 月
開催予定場所 秋田市

- ④ 研修会・講習会等への受講者に対する修了証及び認定証の交付
最新の獣医学、高度獣医療技術等に関する専門分野別の研修会、講習会等を一定
回数受講した獣医師には、公益社団法人日本獣医師会が修了証並びに認定証を交付
しており、本会として参加を促し獣医師の生涯学習意欲を喚起する。

(2) 獣医療研修会等開催事業

獣医療の各分野にわたる研修会等を開催し、獣医師の人材育成並びに資質の向上
を図る。

6 動物愛護・保護の普及啓発事業

県や関係団体と共催で動物愛護フェスティバルを開催するとともに、リーフレット
やポスターを作成・配布し、動物愛護・保護精神の普及啓発を図る。

また、各地で犬のしつけ方教室を開催するとともに、動物病院等で管理指導を行い
飼育動物の適正飼養を推進する。

(1) 動物愛護フェスティバルの開催

開催予定時期 令和 7 年 9 月（祝日）
開催予定場所 秋田市
内 容 長寿動物飼い主表彰
動物とのふれあいコーナー
プラ板・缶バッジ・迷子札の作成体験
リーフレット、ポスター等を作成し、動物愛護精神の普及啓発

(2) 犬のしつけ方教室

8 地域で年に1回以上、適正飼養及びしつけ方教室を開催するとともに、動物病院では、随時、管理指導等を実施する。

(3) 一般公開セミナー

他団体との共催により、高齢者等を対象にした「動物による心の癒し」等の一般公開セミナーを実施し福祉事業へ参加する。

7 学校飼育動物適正管理支援事業

小・中学校、幼稚園、特別支援学校等で、動物を活用した情操教育を実施するとともに、学校飼育動物の衛生と健康を保持し、効果的に教育活動ができるように健康診断、診療、飼育指導、助言等を行い、動物飼育を介した情操教育及び動物愛護の高揚に繋げる。

- (1) 自治体と当会が協議・協力して、各学校で飼育動物の健康診断、診療、飼育指導・助言等を行う。
- (2) 学校飼育動物を介する教育活動について、学校、児童、PTA、教育関係者、地区住民等を対象に公開講座や研修会を開催し、動物愛護等の普及啓発をする。
- (3) 県機関と共催し、動物を活用した心の授業に協力する。

8 災害時動物救護対策事業

災害時における飼育動物の避難・救護体制を構築するため、動物救護用物資の備蓄並びに被災動物救護対策積立金を活用した対応を検討して発災に備える。

(1) 平常時の活動

災害時における動物救護用物資を備蓄するとともに、「飼育動物の避難に関する心得、準備する日用品・器材、動物の訓練」等について、ホームページで飼い主に情報提供する。また、県機関と共催した公開講座を開催し普及活動を実施する。

(2) 災害発生時の活動

現地対策本部並びに救護のためのシェルターの設置と被災愛玩動物の健康診断、治療及び相談等の対応と不足する医薬品、器材を調達する。また、被災地における動物の医療救護、保護活動に関することをホームページ等で情報提供する。

9 傷病野生鳥獣保護事業

野生動物の保護並びに傷病野生動物の治療等へ協力する。

また、県内在住の獣医師に対し、最新の情報や学術等を提供するため研修会を開催する。

II 収益事業

証明書等頒布並びに県証紙取扱事業

1 証明書等頒布及び県証紙取扱事業

(1) 獣医療証明書等頒布事業

獣医師法、獣医療法、薬機法（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律）等で、診療等の際に交付が義務付けられている証明書等を診療獣医師に頒布する。

(2) 県証紙取扱事業

秋田県県証紙条例に基づき県証紙を取り扱う。

Ⅲ その他の事業（相互扶助等事業）

1 相互扶助等事業

- (1) 会員の互助・福利厚生事業
 - ・ 獣医師総合生命福祉共済保険へ加入促進する。
 - ・ 会員の健康増進等に関し助成する。
- (2) 表彰等事業
 - ・ 秋田県獣医師会表彰規定に基づき表彰する。
 - ・ 日本獣医師会会長表彰、感謝状受賞、秋田県知事表彰・叙勲、褒賞等に推薦する。
- (3) 慶弔関係事業
 - ・ 慶弔金給付規程により給付する。
- (4) 犬猫の不妊去勢手術助成事業（県補助事業）
 - ・ 多頭飼育により不妊・去勢を実施せず繁殖抑制が必要な主として猫を対象に、会員の動物病院等で行う不妊・去勢費用に対する助成を行い、地域住民との共生を推進するとともに、生活環境への支障及び多頭飼育崩壊の未然防止に寄与する。

Ⅳ 管理・運営事業

1 会議等の開催

区 分	開催回数	開催時期
総 会	1	令和 7 年 6 月 13 日
理 事 会	6	令和 7 年 5 月、6 月（2 回）、9 月、12 月、令和 8 年 3 月
監 事 会	2	令和 7 年 4 月、11 月
業務運営幹部会	4	令和 7 年 5 月、9 月、12 月、令和 8 年 3 月
各 部 会	別記	別記
事務局会議	2	令和 7 年 7 月、令和 8 年 1 月

※ 臨時総会、理事会は必要に応じて開催する。

《別記》

各部会検討事項

部 会	開催時期	主な検討事項
産業動物部会	令和 7 年 7 月	・ 獣医学術東北地区学会における演題の選定 ・ 産業動物講習会の内容及び講師の選定 ・ 産業動物獣医師に係る諸問題
小動物・狂犬病予防部会	令和 7 年 7 月	・ 獣医学術東北地区学会における演題の選定 ・ 小動物臨床講習会の内容及び講師の選定 ・ 狂犬病予防注射実績と接種率向上
公衆衛生・人獣共通感染症部会	令和 7 年 7 月	・ 獣医学術東北地区学会における演題の選定 ・ 人獣共通感染症講習会内容及び講師の選定 ・ 公衆衛生関係の諸問題
広報部会	令和 7 年 8 月 令和 8 年 1 月	・ 広報活動に関すること ・ 秋田県獣医師会雑誌の編集及び発刊
組織財政部会	令和 7 年 11 月	・ 公益目的事業等の再検討 ・ 令和 7 年度における補正予算の編成

専門部会委員名簿【任期：令和7年度総会の日から令和9年度総会の日まで】

◎は部会長又は委員長、○は学会幹事

(1) 産業動物部会委員（8名）

氏 名	所 属	摘 要
◎	支部	県獣理事
○安田 正明	秋田支部（中央家畜保健衛生所）	継続・産業動物学会幹事
大道 綾乃	北秋田支部（開業）	継続
山口 恭代	秋田支部（畜産振興課）	継続
與齊 和博	由利支部（開業）	新規
加藤真姫子	仙北支部（畜産試験場）	継続
真田慶之助	仙北支部（県南家畜診療所）	継続
武田 浩輝	横手支部（開業）	継続

(2) 小動物・狂犬病予防部会委員（7名）

氏 名	所 属	摘 要
◎	支部	県獣理事
○小松 亮	秋田支部（開業）	新規・小動物学会幹事
金 理枝子	秋田支部（動物愛護センター）	継続
高橋 拓	秋田支部（秋田市保健所）	継続
福田 有希	秋田支部（生活衛生課）	新規
木場 聖延	秋田支部（開業）	新規
小南 好慎	仙北支部（開業）	継続

(3) 公衆衛生・人獣共通感染症部会委員（7名）

氏 名	所 属	摘 要
◎	支部	県獣理事
○櫻田フジト	秋田支部（動物愛護センター）	新規・獣医公衆衛生学会幹事
中野 秀樹	鹿角支部（秋田県食肉衛生検査所）	継続
佐々木孝子	秋田支部（生活衛生課）	新規
安田 有	秋田支部（南部家畜保健衛生所）	継続
柴田 千秋	秋田支部（秋田市食肉衛生検査所）	継続
三浦 匡哉	秋田支部（大森山動物園）	継続

◆ 秋田県ワンヘルス推進検討委員会（7名）

（公衆衛生・人獣共通感染症部会に属する委員会）

氏 名	所 属	摘 要
◎小松 守	秋田支部	継続
齊藤志保子	秋田支部	継続
松田 幸久	秋田支部	継続
伊藤 賢	秋田支部（開業）	新規
根元 繁	鹿角支部（秋田県食肉衛生検査所）	新規
安田 正明	秋田支部（中央家畜保健衛生所）	継続
八重樫 良	秋田支部（秋田市食肉衛生検査所）	継続

(4) 広報部会委員（7名）

氏 名	所 属	摘 要
◎	支部	県獣理事
小松 守	秋田支部	継続
福間 幹大	秋田支部（動物愛護センター）	継続
石川すばる	秋田支部（畜産振興課）	新規
小川 秀治	秋田支部（中央家畜保健衛生所）	継続
伊藤 賢	秋田支部（開業）	継続
與齊 祐子	由利支部（開業）	継続

◆ 情報の高度活用及び獣医師会雑誌編集委員会委員（6名）

（広報部会に属する委員会）

氏 名	所 属	摘 要
◎小川 秀治	秋田支部（中央家畜保健衛生所）	継続
福間 幹大	秋田支部（動物愛護センター）	継続
李 英輝	秋田支部（畜産振興課）	継続
高橋 拓	秋田支部（秋田市保健所）	継続
柿野 淳	秋田支部（開業）	継続
今野 誠	由利支部（中央部家畜診療所）	継続

(5) 組織財政部会委員（6名）

氏 名	所 属	摘 要
◎	支部	県獣理事
庄司 浩久	秋田支部	新規
木村 衆	秋田支部	新規
鈴木 敏規	由利支部（開業）	継続
與齊 和博	由利支部（開業）	継続
加沢 敏明	仙北支部（開業）	継続

(6) 事故対策委員会委員（5名）

氏 名	所 属	摘 要
	支部	県獣副会長
	支部	県獣副会長
若松 清則	北秋田支部（開業）	継続
櫻田フジト	秋田支部（動物愛護センター）	新規
佐々木孝子	秋田支部（生活衛生課）	新規

(7) 選挙管理委員会委員（5名）

氏 名	所 属	摘 要
◎嵯峨 裕	秋田支部	
佐藤 政善	由利支部	
佐藤 徹也	山本支部	
金 和浩	秋田支部	
藤島 信賢	雄勝支部	

任期：令和6年3月18日～令和8年3月17日

収支予算〈損益ベース〉

科 目	公益目的事業会計		
	前年度予算額	今年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
中科目別記載			
特定資産運用益			
中科目別記載			
受取入会金	24,000	18,000	△ 6,000
受取入会金	24,000	18,000	△ 6,000
賛助入会金			
受取会費	4,113,200	4,055,400	△ 57,800
受取一般会費	945,000	949,200	4,200
受取特別会費	3,162,000	3,100,000	△ 62,000
受取賛助会費	6,200	6,200	
事業収益	75,207,300	78,300,000	3,092,700
狂犬病予防推進事業収益	75,207,300	73,750,000	△ 1,457,300
県証紙売り捌事業収益			
証明書等頒布事業収益			
獣医学術向上及び研修会等開催事業		4,550,000	4,550,000
受取補助金等	5,096,235	5,530,000	433,765
受取地方補助金			
受取民間補助金			
登録事務受託収益	150,000	150,000	
済票交付事務受託収益	2,200,000	2,200,000	
通知事務受託収益	2,666,235	3,100,000	433,765
講習会受託収益	80,000	80,000	
受取負担金			
中科目別記載			
受取寄付金			
中科目別記載			
雑収益	2,000	800	△ 1,200
受取利息	2,000	800	△ 1,200
雑収益			
経常収益計	84,442,735	87,904,200	3,461,465

収支予算〈損益ベース〉

科 目	公益目的事業会計		
	前年度予算額	今年度予算額	増減
(2)経常費用			
事業費	91,369,220	97,811,329	6,442,109
役員報酬	2,780,000	3,068,000	288,000
給料手当	8,300,000	8,300,000	
臨時雇賃金	2,269,500	2,225,000	△ 44,500
退職給付費用	408,000	408,000	
福利厚生費	1,100,000	1,200,000	100,000
県証紙仕入高			
薬品費	10,518,750	10,312,500	△ 206,250
技術料	40,290,000	39,500,000	△ 790,000
広報活動費	1,050,000	1,050,000	
会議費	700,000	1,100,000	400,000
証明書仕入高			
旅費交通費	2,500,000	3,500,000	1,000,000
通信運搬費	3,300,000	4,550,000	1,250,000
減価償却費		47,829	47,829
消耗什器備品費			
消耗品費	2,000,000	2,200,000	200,000
修繕費	30,000	50,000	20,000
印刷製本費	1,400,000	2,240,000	840,000
光熱水料費	1,000,000	1,010,000	10,000
賃借料	9,000,000	11,800,000	2,800,000
保険料	169,870	200,000	30,130
諸謝金	170,000	400,000	230,000
租税公課	1,133,100	1,600,000	466,900
支払負担金	700,000	700,000	
支払助成金	600,000	400,000	△ 200,000
支払寄付金			
委託費	1,450,000	1,450,000	
雑費	500,000	500,000	
経常費用計	91,369,220	97,811,329	6,442,109

収支予算〈損益ベース〉

科 目	公益目的事業会計		
	前年度予算額	今年度予算額	増減
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,926,485	△ 9,907,129	△ 2,980,644
基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等			
投資有価証券評価損益等			
評価損益等計			
当期経常増減額	△ 6,926,485	△ 9,907,129	△ 2,980,644
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
中科目別記載			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
中科目別記載			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	△ 6,926,485	△ 9,907,129	△ 2,980,644
一般正味財産期首残高			
一般正味財産期末残高			
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
.			
一般正味財産への振替額			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
Ⅲ 正味財産期末残高	△ 6,926,485	△ 9,907,129	△ 2,980,644

収支予算〈損益ベース〉

科 目	収益事業等会計							法人会計		
	収益事業1		その他の事業1		小計					
	前年度予算額	今年度予算額	前年度予算額	今年度予算額	前年度予算額	今年度予算額	増減	前年度予算額	今年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0		0		0			0		
中科目別記載										
特定資産運用益	0		0		0			0		
中科目別記載										
受取入会金	0		0		0			56,000	42,000	△ 14,000
受取入会金	0		0		0			56,000	42,000	△ 14,000
賛助入会金	0		0		0			0	0	0
受取会費	0		755,500	210,000	755,500	210,000	△ 545,500	8,501,300	8,918,600	417,300
受取一般会費	0		754,500	209,000	754,500	209,000	△ 545,500	1,450,500	2,005,800	555,300
受取特別会費	0		0	0	0	0	0	7,038,000	6,900,000	△ 138,000
受取賛助会費	0		1,000	1,000	1,000	1,000	0	12,800	12,800	0
事業収益	150,000	150,000	0	0	150,000	150,000	0			0
狂犬病予防推進事業収益							0			0
県証紙売り捌事業収益	50,000	50,000			50,000	50,000	0			0
証明書等頒布事業収益	100,000	100,000			100,000	100,000				
獣医学術向上普及啓発事業収益										
受取補助金等			2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0	0	0	0
受取地方補助金			2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0	0	0	0
登録事務受託収益					0	0	0			0
済票交付事務受託収益					0	0	0			0
通知事務受託収益					0	0	0			0
講習会受託収益					0	0	0			0
受取負担金					0	0	0	260,000	0	△ 260,000
中科目別記載					0	0	0			0
受取寄付金					0	0	0			0
中科目別記載					0	0	0			0
雑収益	30,100	30,200	40,000	40,000	70,100	70,200	100	0	0	0
受取利息	100	200	0	0	100	200	100	0	0	0
雑収益	30,000	30,000	40,000	40,000	70,000	70,000	0	0	0	0
経常収益計	180,100	180,200	2,795,500	2,250,000	2,975,600	2,430,200	△ 545,400	8,817,300	8,960,600	143,300

収支予算〈損益ベース〉

科 目	収益事業等会計							法人会計		
	収益事業1		その他の事業1		小計			前年度予算額	今年度予算額	増減
	前年度予算額	今年度予算額	前年度予算額	今年度予算額	前年度予算額	今年度予算額	増減			
(2)経常費用										
事業費	165,000	165,000	2,795,500	2,250,000	2,960,500	2,415,000	△ 545,500			
役員報酬										
給料手当										
臨時雇賃金										
退職給付費用										
福利厚生費			300,000	200,000	300,000	200,000	△ 100,000			
県証紙仕入高	30,000	30,000			30,000	30,000	0			
薬品費										
技術料										
広報活動費										
会議費			32,000	0	32,000	0	△ 32,000			
証明書仕入高	55,000	55,000			55,000	55,000	0			
旅費交通費			146,000	10,000	146,000	10,000	△ 136,000			
通信運搬費			100,000	110,000	100,000	110,000	10,000			
減価償却費										
消耗什器備品費										
消耗品費	0		110,000	110,000	110,000	110,000	0			
修繕費										
印刷製本費	0		95,000	10,000	95,000	10,000	△ 85,000			
光熱水料費										
賃借料			0	0	0	0	0			
保険料										
諸謝金										
租税公課	50,000	50,000			50,000	50,000	0			
支払負担金					0	0	0			
支払助成金			1,800,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000	0			
支払寄付金										
支払手数料										
委託費										
雑費	30,000	30,000	212,500	10,000	242,500	40,000	△ 202,500			

収支予算〈損益ベース〉

科 目	収益事業等会計							法人会計		
	収益事業1		その他の事業1		小計					
	前年度予算額	今年度予算額	前年度予算額	今年度予算額	前年度予算額	今年度予算額	増減	前年度予算額	今年度予算額	増減
管理費								8,688,000	8,728,000	40,000
役員報酬								1,436,000	1,436,000	0
給料手当								540,000	570,000	30,000
臨時雇賃金								30,000	30,000	0
退職給付費用								102,000	102,000	0
福利厚生費								290,000	290,000	0
会議費								1,200,000	1,300,000	100,000
旅費交通費								870,000	870,000	0
通信運搬費								140,000	140,000	0
減価償却費								0	0	0
消耗什器備品費								0	0	0
消耗品費								200,000	200,000	0
修繕費								140,000	140,000	0
印刷製本費								550,000	550,000	0
燃料費								0	0	0
光熱水料費								80,000	90,000	10,000
賃借料								300,000	300,000	0
保険料								0	0	0
諸謝金								850,000	750,000	△ 100,000
租税公課								10,000	10,000	0
支払負担金								1,800,000	1,800,000	0
支払助成金								0	0	0
支払寄付金								0	0	0
雑費								150,000	150,000	0
経常費用計	165,000	165,000	2,795,500	2,250,000	2,960,500	2,415,000	△ 545,500	8,688,000	8,728,000	40,000

収支予算〈損益ベース〉

科 目	収益事業等会計							法人会計		
	収益事業1		その他の事業1		小計					
	前年度予算額	今年度予算額	前年度予算額	今年度予算額	前年度予算額	今年度予算額	増減	前年度予算額	今年度予算額	増減
評価損益等調整前当期経常増減額	15,100	15,200	0	0	15,100	15,200	100	129,300	232,600	103,300
基本財産評価損益等										0
特定資産評価損益等										0
投資有価証券評価損益等										0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	15,100	15,200	0	0	15,100	15,200	100	129,300	232,600	103,300
2. 経常外増減の部							0			0
(1) 経常外収益							0			0
中科目別記載							0			0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							0			0
中科目別記載							0			0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額							0			0
当期一般正味財産増減額	15,100	15,200	0	0	15,100	15,200	100	129,300	232,600	103,300
一般正味財産期首残高	△ 342,981	△ 327,881	3,782,454	3,782,454	3,439,473	3,454,573	15,100	28,349,131	28,478,431	129,300
一般正味財産期末残高	△ 327,881	△ 312,681	3,782,454	3,782,454	3,454,573	3,469,773	15,200	28,478,431	28,711,031	232,600
Ⅱ 指定正味財産増減の部							0			0
受取補助金等							0			0
・ ・ ・ ・ ・							0			0
一般正味財産への振替額							0			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高							0			0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	△ 327,881	△ 312,681	3,782,454	3,782,454	3,454,573	3,469,773	15,200	28,478,431	28,711,031	232,600

収支予算〈損益ベース〉

科 目	合 計		
	前年度予算額	今年度予算額	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0		0
中科目別記載			0
特定資産運用益	0		0
中科目別記載			0
受取入会金	80,000	60,000	△ 20,000
受取入会金	80,000	60,000	△ 20,000
受取賛助入会金	0	0	0
受取会費	13,370,000	13,184,000	△ 186,000
受取一般会費	3,150,000	3,164,000	14,000
受取特別会費	10,200,000	10,000,000	△ 200,000
受取賛助会費	20,000	20,000	0
事業収益	75,357,300	78,450,000	3,092,700
狂犬病予防推進事業収益	75,207,300	73,750,000	△ 1,457,300
県証紙売り捌事業収益	50,000	50,000	0
証明書等頒布事業収益	100,000	100,000	0
獣医学術向上普及啓発事業収益	0	4,550,000	4,550,000
受取補助金等	7,096,235	7,530,000	433,765
受取地方補助金	2,000,000	2,000,000	0
受取民間補助金	0		0
登録事務受託収益	150,000	150,000	0
済票交付事務受託収益	2,200,000	2,200,000	0
通知事務受託収益	2,666,235	3,100,000	433,765
講習会受託収益	80,000	80,000	0
受取負担金	260,000	0	△ 260,000
中科目別記載			0
受取寄付金	0	0	0
中科目別記載			0
雑収益	72,100	71,000	△ 1,100
受取利息	2,100	1,000	△ 1,100
雑収益	70,000	70,000	0
経常収益計	96,235,635	99,295,000	3,059,365

収支予算〈損益ベース〉

科 目	合 計		
	前年度予算額	今年度予算額	増減
(2)経常費用			
事業費	94,329,720	100,226,329	5,896,609
役員報酬	2,780,000	3,068,000	288,000
給料手当	8,300,000	8,300,000	0
臨時雇賃金	2,269,500	2,225,000	△ 44,500
退職給付費用	408,000	408,000	0
福利厚生費	1,400,000	1,400,000	0
県証紙仕入高	30,000	30,000	0
薬品費	10,518,750	10,312,500	△ 206,250
技術料	40,290,000	39,500,000	△ 790,000
広報活動費	1,050,000	1,050,000	0
会議費	732,000	1,100,000	368,000
証明書仕入高	55,000	55,000	
旅費交通費	2,646,000	3,510,000	864,000
通信運搬費	3,400,000	4,660,000	1,260,000
減価償却費	0	47,829	47,829
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	2,110,000	2,310,000	200,000
修繕費	30,000	50,000	20,000
印刷製本費	1,495,000	2,250,000	755,000
光熱水料費	1,000,000	1,010,000	10,000
賃借料	9,000,000	11,800,000	2,800,000
保険料	169,870	200,000	30,130
諸謝金	170,000	400,000	230,000
租税公課	1,183,100	1,650,000	466,900
支払負担金	700,000	700,000	0
支払助成金	2,400,000	2,200,000	△ 200,000
支払寄付金	0	0	0
委託費	1,450,000	1,450,000	0
雑費	742,500	540,000	△ 202,500

収支予算〈損益ベース〉

科 目	合 計		
	前年度予算額	今年度予算額	増減
管理費	8,688,000	8,728,000	40,000
役員報酬	1,436,000	1,436,000	0
給料手当	540,000	570,000	30,000
臨時雇賃金	30,000	30,000	0
退職給付費用	102,000	102,000	0
福利厚生費	290,000	290,000	0
会議費	1,200,000	1,300,000	100,000
旅費交通費	870,000	870,000	0
通信運搬費	140,000	140,000	0
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	200,000	200,000	0
修繕費	140,000	140,000	0
印刷製本費	550,000	550,000	0
燃料費	0	0	0
光熱水料費	80,000	90,000	10,000
賃借料	300,000	300,000	0
保険料	0	0	0
諸謝金	850,000	750,000	△ 100,000
租税公課	10,000	10,000	0
支払負担金	1,800,000	1,800,000	0
支払助成金	0	0	0
支払寄付金	0	0	0
雑費	150,000	150,000	0
経常費用計	103,017,720	108,954,329	5,936,609

収支予算〈損益ベース〉

科 目	合 計		
	前年度予算額	今年度予算額	増減
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,782,085	△ 9,659,329	△ 2,877,244
基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等			
投資有価証券評価損益等			
評価損益等計			
当期経常増減額	△ 6,782,085	△ 9,659,329	△ 2,877,244
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
中科目別記載			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
中科目別記載			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	△ 6,782,085	△ 9,659,329	△ 2,877,244
一般正味財産期首残高	31,788,604	25,006,519	△ 6,782,085
一般正味財産期末残高	25,006,519	15,347,190	△ 9,659,329
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
・ ・ ・ ・ ・			
一般正味財産への振替額			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
Ⅲ 正味財産期末残高	25,006,519	15,347,190	△ 9,659,329

投資活動収支の部	
1. 投資活動収入	
特 定 資 産 取 崩 収 入	2,600,000
退 職 給 付 引 当 資 産 取崩収入	0
東 北 大 会 等 積 立 取崩収入	2,600,000
周 年 記 念 事 業 積 立 預 金 取崩収入	0
被 災 動 物 救 護 対 策 積 立 預 金 取崩収入	0
投資活動収入計	2,600,000
2. 投資活動支出	
特 定 資 産 取 得 支 出	2,010,000
退 職 給 付 引 当 資 産 取得支出	510,000
東 北 大 会 等 積 立 預 金 取得支出	1,000,000
周 年 記 念 事 業 積 立 預 金 取得支出	500,000
被 災 動 物 救 護 対 策 積 立 預 金 取得支出	0
投資活動支出計	2,010,000
投資活動収支差額	590,000
財務活動収支の部	
1. 財務活動収入	
借 入 金 収 入	2,000,000
財務活動収入計	2,000,000
2. 財務活動支出	
借 入 金 返 済 支 出	2,000,000
財務活動支出計	2,000,000
財務活動収支差額	0
予備費支出	
当期収支差額	△ 6,431,821
前期繰越収支差額	18,892,356
次期繰越収支差額	12,460,535

(注)

1. 収支予算書は、公益法人会計基準を採用している。

2. 借入金限度額 2,000,000円

(付帯決議)

1. 令和7年度事業計画及び収支予算に関して、増減があった場合の予算補正の措置については理事会に一任されたい。

2. 令和7年度予算の執行に当たり、予算額に過不足が生じた場合には、科目間の流用の措置は会長に一任されたい。

3. 地震災害等により、被災動物の救護の必要が生じたときは、被災動物救護対策積立金の全部または一部を取り崩しすることを、理事会に一任されたい。

報告事項 2 秋田県獣医師会創立 75 周年記念事業収支決算書について

収 入 額	450,000 円
支 出 額	410,725 円
差引差額	39,275 円

1 収入の部

単位 円

項 目	予算額	決算額	増 減	摘 要
周年記念事業積立 資産取崩収入	450,000	450,000	0	
計	450,000	450,000	0	

2 支出の部

単位 円

項 目	予算額	決算額	増 減	摘 要
会 議 費	52,000	32,000	△ 20,000	表彰者祝賀会負担金
旅費交通費	156,000	109,360	△ 46,640	
印刷製本費	79,500	94,875	15,375	賞状、筆耕、式次第
雑 費	162,500	174,490	11,990	記念品等
計	450,000	410,725	△ 39,275	※残金は本会会計に 受け入れ



日本獣医師会・獣医師会活動指針

－ 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領 獣医師の誓い－95年宣言」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとの責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WCS）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。



第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会

アジアワンヘルス福岡宣言 2022

ワンヘルスは、動物と人の共生社会づくり、生物多様性や環境の保全などによって、地球や社会の持続的な発展を目指している。

現在、世界では、COVID-19、新型インフルエンザ、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)など人と動物の共通・新興感染症の国境を越えた発生や、薬剤耐性(AMR)が大きな課題となっている。

このようなことから、FAVA加盟国は、連携・協力してワンヘルスを実践しなければならない。

我々FAVA加盟獣医師会及び所属する獣医師は、ワンヘルスの先進地である福岡県において開催された第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会の成果を踏まえ、「FAVA戦略プラン2021-2025」に基づくワンヘルスアプローチを一層発展させ、その実践活動をアジア・オセアニア地域から世界に向けて発信することを決意し、以下のとおり宣言する。

1. 新興・再興感染症を含む人と動物の共通感染症の予防及びまん延防止に万全を期するため、感染源、感染経路及び宿主対策についての調査・研究体制を整備するとともに、情報の共有に努める。
2. 薬剤耐性菌が医療と獣医療において重大な脅威となっていることから、抗菌剤の慎重かつ適正な使用を徹底し、薬剤耐性(AMR)対策を推進する。
3. 動物と人が共生する社会を構築するため、生物多様性の維持や地球環境の保全を積極的に推進する。
4. 獣医学教育の更なる整備及びワンヘルスアプローチによる国際連携により、WOAH(OIE) Day One Competencies(獣医師が具備すべき知識・技能・態度)を有する獣医師の育成に取り組む。
5. 医療関係団体、行政機関、市民団体及び大学、WVA、WOAH(OIE)、WHO、FAO、UNEPなどの国際機関と協力し、ワンヘルスの課題解決と推進に取り組む。
6. アジアにおけるワンヘルスの課題への研究と児童、生徒及び市民に対するワンヘルス教育の普及のために、FAVA活動の拠点を整備・強化する。



2022年11月13日 福岡県福岡市において調印